

令和元年度(2019年度)

部の運営方針

重点施策・事業の進捗状況

令和元年(2019年)12月

総合政策部 企画課

「令和元年度（2019年度） 部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況」 について

枚方市では、選択と集中を実現する行政経営システムを構築しています。
このシステムは、市のまちづくりの方針決定を行う、「施策における選択と集中」とそれを受けて各部が取り組む重点施策や課題を示した「各部における選択と集中」から成り立っています。

本市では、その具体的な取り組みとして、各部が年度単位で重点的に取り組む事業等
を示した「部の運営方針」を作成・公表しています。

この度の「令和元年度(2019年度) 部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況」
は、各部の「部の運営方針」内に示している“重点施策・事業”の進捗状況を年度の中
間に公表することで、多様化・複雑化する行政や地域の課題について、早期に共通の認
識を持ち解決の促進を図るために実施するものです。なお、「部の運営方針“重点施策・
事業”の進捗状況」の見方は次のとおりです。

部の運営方針“重点施策・事業”の進捗状況の見方

令和元年度
(2019年度)

〇〇部 重点施策・事業の進捗状況

(1) 〇〇〇について

方向性

取り組み

令和元年度（2019年度） 各部の運営方針の“重点施策・事業”
の「重点施策・事業における目標」・「令和元年度（2019年度）
の取り組み」・「平成31年度当初予算」の内容を転記しています。

平成31年度当初予算：〇〇千円

9月末の
進捗状況

【 】

上記の重点施策・事業の「令和元年度（2019年度）の取り組み」
に対して、9月末現在の進捗状況を記載しています。

【 】内に「令和元年度（2019年度）の取り組み」に対して以下の内容を記載しています。
<◎（完了）、○（当初の予定通り進行中）、△（進行中であるが遅れあり）>

目 次

令和元年度（2019年度）部の運営方針“重点施策・事業”一覧	P.1
市長公室	P.6
総合政策部	P.12
市駅周辺等活性化推進部	P.16
市民安全部	P.19
総務部	P.23
財務部	P.26
産業文化部	P.28
健康部	P.34
健康部 保健所	P.37
長寿社会部	P.41
福祉部	P.45
子ども青少年部	P.48
環境部	P.53
都市整備部	P.56
土木部	P.60
会計管理者	P.65
上下水道経営部	P.66
上下水道事業部	P.70
市立ひらかた病院	P.73
総合教育部	P.76
学校教育部	P.81
社会教育部	P.88
選挙管理委員会事務局	P.93
監査委員事務局	P.95
農業委員会事務局	P.97
市議会事務局	P.99

※市議会事務局についても、あわせて掲載しております。

令和元年度（2019年度） 部の運営方針”重点施策・事業”一覧

部名	重点施策・事業	ページ
市長公室	市の認知度向上、定住促進につながる情報発信	6
	全庁的な情報発信力の強化	7
	総合コールセンターの充実	8
	災害等通報システムの導入	8
	平和施策や人権施策の推進	9
	DV予防や男女共同参画の取り組みの推進	9
	性的マイノリティ支援の推進	10
総合政策部	総合計画・総合戦略の進行管理について	12
	財政状況の客観的な検証・分析	12
	シティプロモーションの推進	13
	ひらかたポイント制度の充実	14
	民間活力（窓口業務委託等）の活用推進	15
市駅周辺等活性化推進部	枚方市駅周辺再整備の推進	16
	香里ヶ丘地域のまちづくり	18
市民安全部	マイナンバーカードの普及促進	19
	協働によるまちづくりの推進	19
	枚方市地域防災計画の修正等について	20
	枚方ひこ防' z 2019の実施について	20
	消費者被害対策の推進	21
総務部	電子申請の拡充	23
	AI・ロボティクス等の技術を活用した業務の効率化	23
	長時間労働の縮減と働き方改革の推進	24
	時代に順応した人材育成のさらなる充実	24
	文書管理の適正化の推進	25
財務部	民間提案制度の実施	26
	公共施設マネジメントの推進	26
	未収金対策の強化	27

部名	重点施策・事業	ページ
産業文化部	観光施策の戦略的推進	28
	新たな商業者等への支援	28
	さらなる賑わいの創出に向けた地域資源の情報発信	29
	農業の魅力や楽しさを発信	30
	特産物の創出と6次産業化	31
	枚方市総合文化芸術センターの整備	31
	文化芸術の拠点形成に向けた取り組み	32
	プレミアム付商品券事業	33
健康部	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進	34
	救急医療体制の整備	34
	災害時の医療救護体制の強化	35
	医療費適正化に向けた取り組みの推進	35
健康部 保健所	働く世代の健康づくり支援	37
	食中毒など健康危機事象発生 of 未然防止	37
	風しん対策事業の拡充	38
	自殺予防対策の推進	39
	妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援の更なる推進	39
長寿社会部	介護予防・日常生活支援総合事業の実施	41
	認知症施策の推進	42
	在宅医療・介護連携の推進	42
	高齢者お出かけ推進事業の実施	43
	広域型特別養護老人ホームの増築等や地域密着型サービスの整備	44
福祉部	地域福祉のさらなる推進	45
	改正生活保護法等への的確な対応	45
	枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づく障害者施策の推進	46
	指導監査業務に係る法令等の改正への適正な対応	47
子ども青少年部	子ども・若者への支援の充実	48
	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定及び待機児童対策の推進	49
	幼児教育・保育の無償化及び保育サービスの充実	49
	ひらかた子ども発達支援センターの開設など障害児支援の充実	50
	さまざまな困難な状況にある子ども・若者・家庭への相談支援の充実	51

部名	重点施策・事業	ページ
環境部	ごみ減量の取り組み	53
	地球温暖化対策の推進	53
	可燃ごみ広域処理施設の整備	54
	第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて	54
	空き家・空き地対策の推進	55
都市整備部	枚方市総合文化芸術センターの整備をはじめとする公共建築物の整備・保全	56
	京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業	56
	定住促進につながる住宅施策の推進（三世大家族・定住促進事業）	57
	空き家・空き地対策推進事業	58
	住宅・建築物耐震化促進事業	59
土木部	枚方市総合交通計画の推進	60
	都市計画道路の整備	60
	市内主要駅周辺の交通環境の改善	61
	安全・安心で快適な交通環境の創出	61
	安全な交通社会の実現	62
	道路・公園等の効率的・効果的な維持管理	63
	公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造	64
会計管理者	公金の適正な管理	65
	指定金融機関等における適正な公金取扱事務の確保	65
上下水道経営部	水道料金制度の改正に向けた取り組み	66
	水洗化の促進	66
	下水道管路の適切な維持管理と計画的な更新に向けた点検・調査	67
	水道料金及び下水道使用料等の徴収率の向上	68
	水道法改正に伴う取り組み	68
上下水道事業部	中宮浄水場更新事業	70
	水道施設等の更新・耐震化事業	70
	公共下水道汚水整備事業	71
	下水道施設の老朽化対策について	71
	浸水対策について	72
市立ひらかた病院	健全な病院経営	73

部名	重点施策・事業	ページ
総合教育部	学校園の安全対策	76
	小・中学校におけるICT機器等の整備	76
	公立幼稚園における3歳児保育と子育て支援策の充実	77
	枚方市学校施設整備計画の実施・計画の策定	78
	学校トイレ改善事業	78
	学校規模等適正化推進事業	79
	学校運営に係る事業の再構築	79
	学校給食の充実	80
学校教育部	学力向上の取り組みの推進	81
	英語教育の推進	82
	読書活動の推進	82
	体力向上の取り組みの推進	83
	生徒指導の充実	84
	支援教育の充実	84
	少人数学級充実事業の推進	85
	教職員研修の充実	86
	コミュニティ・スクールの推進	87
	幼児教育の充実	87
社会教育部	「児童の放課後を豊かにする基本計画」の策定	88
	社会教育の推進	88
	留守家庭児童会室のあり方の検討	89
	歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）	89
	スポーツ施策の推進	90
	香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備	91
	学校図書館支援事業の推進	91
	市駅周辺の図書館機能の充実	92
選挙管理委員会事務局	選挙の公正かつ適正な管理執行	93
	選挙啓発事業の推進	93
	期日前投票所の増設について	94

部名	重点施策・事業	ページ
監査委員事務局	各種監査の円滑な実施	95
	例月現金出納検査、決算審査及び財政健全化法に基づく審査	95
農業委員会事務局	農業委員会の円滑な運営	97
	農地銀行による農地貸借の結び付けの強化	97
	農地適正管理システムの精度向上	98
市議会事務局	本会議、委員会等の適切な運営	99
	多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実	99
	災害発生時における様々な支援活動体制の強化	100
	政務活動費の適正な運用	101
	他の市議会との広域的な連携	101

(1) 市の認知度向上、定住促進につながる情報発信

<p>方向性</p>	<p>市の魅力を広く市内外へPRし、市の認知度向上、定住促進につながる情報発信に取り組めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>「マイカたちやいます、」や「枚方家族」をキャッチフレーズとしたPRを積極的に展開するため、情報誌への広告掲載や民間事業者とのタイアップによる企画などさらなる取り組みを進めます。</p> <p>部署を超えた職員投稿チーム「インスタ隊」の活動を通してInstagramによるビジュアル的な発信を強化するとともに、民間の情報発信企業とのコラボ企画などを積極的に展開し、若年層へのPRを図ります。</p> <p>市SNSの中でフォロワー数が最も多く、若者の利用頻度が高いtwitterを効果的に活用するため、若い世代に注目される「つぶやき」を積極的に行います。</p>
<p>取り組み</p>	<p>まちのPRだけでなく市民生活に役立つ動画配信を充実させ、「伝わる」を意識した情報発信に取り組めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>市公式フェイスブック ページの「いいね！」数：年間1,000人増（平成31年4月16日現在3,142人）</p> <p>市公式Instagram フォロワーの数：年間2,000人増（平成31年4月16日現在2,005人）</p> <p>平成31年度当初予算：4,800千円（広報アドバイザー報酬、広告料、委託料）</p>



昨年発足した、職員投稿チーム「インスタ隊」

9月末の
進捗状況
【〇】

「世界中どこにいても好きになってくれるなら枚方家族」をキャッチフレーズに、ゆかりの著名人動画を引き続き公開したほか、ロシア人やブラジル人、フランス人へ枚方家族バッジを配布し、バッジを付けた写真を市SNS等で紹介するなど世界中に「枚方家族」を広める取り組みを進めています。また、枚方市駅中央改札前のデジタルサイネージに優しいまちをPRする枚方家族動画とともに枚方まつりやオクトーバーフェストなどのイベント情報を掲出しました。

広報紙の人気コーナー「枚方キッチン」の調理動画を作成し公開しました。また、市PR大使パンサーズが枚方を巡るコーナー「パンサーズが行く」についても動画を作成し公開しています。

	<p>広報紙のファンを増やす取り組みとして、クイズとアンケートのコーナーの景品に地元の野菜や友好都市の物産をプレゼントに取り入れ、回答者数が増加しました。</p> <p>昨年度に引き続き、庁内から若手職員が集結する庁内Instagram隊による投稿で若年層へ向けて枚方のまちの魅力をPRしています。</p> <p>5月には、読売ファミリーの岡田准一さんインタビュー記事下に掲出した市広告で、「令和」も「平和」アンケートを実施し、96人から平和へのメッセージを得ました。メッセージは3月の平和の日に合わせて公表を予定です。</p> <p>6月からは、市公式ツイッターに「中の人」が登場し、注目を集めるツイートを発信しています。</p>
--	--

(2) 全庁的な情報発信力の強化	
方向性	全庁的な情報発信力をさらに高めるため、各部署との連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上、スキルアップを図ります。
取り組み	<p>各部署からの個別相談に応じる「頼りになる広報課」の支援体制をより充実させることで、庁内連携による情報発信を強化します。</p> <p>若手職員と広報アドバイザーが対話する機会を設け、職員の広報意識向上を目指します。</p> <p>庁内報「広報のチカラ」を定期的（年4回）に発行するとともに、全庁的な情報発信力強化に向けた研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>「頼りになる広報課」への相談件数：40件（昨年度比10%増）</p> <p>平成31年度当初予算：119,656千円<small>[広報ひらかた発行経費、諸経費（広告料、委託料を除く）、ホームページ経費]</small></p>

<p>9月末の進捗状況【○】</p>	<p>「頼りになる広報課」の支援体制をさらに充実させ、チラシ等のデザインだけでなく各課ホームページの個別相談にも対応しています。</p> <p>職員採用募集について、市公式Instagramと連携し「映える」職員を毎日紹介することにより採用広報の情報発信力強化を図りました。</p> <p>若手職員と広報アドバイザーとの対話については、11月1日に「毎日の仕事にときめく方法」研修を実施する予定です。</p> <p>庁内報「広報のチカラ」は、プレゼンテーションに関する記事と、ホームページのビフォーアフターなどとともに、庁内職員向けの啓発広告を掲出し、令和元年（2019年）内に発行する予定です。</p>
---------------------------	--

(3) 総合コールセンターの充実

方向性	市役所への問い合わせについて、開庁日および土日祝・平日夜間においても一元的に受付を行い、可能な限りワンストップにて回答することで市民の利便性の向上を図るとともに、親切かつ丁寧な対応を通じて、正確に担当部署への取り次ぎを行うことで、問い合わせに関する市民満足度の向上を図ります。
取り組み	平成 28 年度から平成 30 年度までの試行検証を踏まえ、オペレータ席を増席するとともに、新たに「FAQ システム」を導入します。随時、FAQ の充実を図ることでワンストップ完結率の向上を図ります。 また、問い合わせ内容が事前にホームページで確認できる「FAQ 専用サイト」を開設し、市民へ公開することで、コールセンターへの着信件数の縮減に取り組みます。 《目標値》 総着信数に対する応答率 95%以上、ワンストップ完結率 30% 平成 31 年度当初予算：64,838 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

コールセンターへの総着信数は約 137,000 件で、昨年度と比較して約 70,000 件減少するとともに応答率は 96%を維持しています。また、ワンストップ回答率は、毎月増加し 9 月末で 23%となっています。

(4) 災害等通報システムの導入

方向性	災害時や地域における不具合箇所等が生じた場合に、ICT を活用した通報システムを導入することで、通報手段の拡充や市民の利便性向上を図るとともに、通報内容について情報共有できる仕組みをつくります。
取り組み	災害時における倒木や浸水等被害報告をはじめ、道路の陥没、公園施設の不具合について、電話やメールによる既存の通報手段に加え、新たにスマートフォンやパソコンを用いて現場写真や位置情報を市に通報するシステムを試行的に導入します。また、通報者との情報共有を図るため、通報内容についての対応状況が確認できるシステムとし、概ね 6 ヶ月間の試行運用による検証を行い、本格導入に向けた取り組みを進めます。 平成 31 年度当初予算：300 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

7 月から試行運用を開始し、約 10 件の通報に対し、運用マニュアルに基づき、適切に対応を行いました。引き続き、12 月末までの試行運用を実施し、本格導入に向けた検証を行っていきます。

(5) 平和施策や人権施策の推進	
方向性	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
取り組み	戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるため、「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」の開催をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。 また、すべての人の人権が尊重され、差別のない社会の実現を目指し、より多くの市民が人権について身近に感じ考えることができるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。
	《目標値》 「ひらかた平和フォーラム」のアンケート結果における「平和に対する関心や理解が大変深まった」「まあ深まった」の割合：96%（昨年度実績 92.6%）
	平成 31 年度当初予算：8,019 千円（平和啓発） 平成 31 年度当初予算：9,724 千円（人権啓発）

9 月末の 進捗状況 【〇】	市民の平和等に対する意識の醸成を図るため、5 月には「憲法のつどい」において、書家の金澤泰子さん・翔子さんを招き「ダウン症の娘と共に生きて」をテーマに講演会・揮毫を開催し 326 人の参加がありました。夏季には長谷川義史原画展「へいわってすてきだね」を開催し 1,205 人の参加が、また、平和映画会（「夕風の街 桜の国」）には 189 人の参加がありました。9 月には市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、全 4 回の連続講座「生きること」を開催し、のべ 182 人の参加がありました。
-------------------------------	--

(6) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進	
方向性	次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないための DV 予防や男女共同参画の理解を深める学習機会を提供します。 あわせて、ワーク・ライフ・バランスの促進及び女性の職業生活における活躍の推進に向け、男性を対象にした啓発講座や女性を対象にした就労支援講座などの啓発事業や相談事業の充実を図ります。
取り組み	教育委員会と連携し、市立小学校 4 年生を対象に「DV 予防教育プログラム」を実施するとともに、市立中学校 2 年生を対象にした「デート DV 予防教育プログラム」を実施します。 ワーク・ライフ・バランスの促進及び女性の職業生活における活躍の推進に向けては、男女共同参画週間事業における男性の家事・育児に関する講演会等の実施や市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」における女性のための起業体験コーナーの設置を行います。 また、枚方市駅直結の男女共生フロア・ウィルの利便性を活かし、各種相談業務の

	実施や男女共同参画に関する図書や情報コーナーの充実を図ります。
	《目標値》
	DV・デートDV 予防教育プログラム実施校：17 校（昨年度比 5 校増）
	平成 31 年度当初予算：2,771 千円（DV 防止対策事業経費）
	平成 31 年度当初予算：12,431 千円（男女共生フロア経費）

9 月末の 進捗状況 【○】	<p>DV 予防教育プログラムについては、小学校、中学校ともに昨年度より大幅に希望校が増加し、小学校では、実施予定の 11 校のうち 5 校、中学校では 12 校のうち 5 校で実施しました。ワーク・ライフ・バランス及び女性の職業生活における活躍の推進に向けては、男女共同参画週間事業において「男の家事が社会を救う！楽しく学ぶジェンダー論」と題した講演会を実施し、83 人（うち男性 41 人）の参加がありました。また、市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」における女性のための起業体験コーナー「ワンテーブルショップ」には、起業を目指す女性等 13 組が出展し、延べ 192 人が来場しました。</p> <p>男女共生フロア・ウィルでは、4 月から男性のための電話相談と LGBT 電話相談を新設したほか、仕事帰りの市民を対象にした男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を夜間の時間帯に実施し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることを PR しました。</p>
-------------------------------	--

(7) 性的マイノリティ支援の推進	
方向性	誰もがいきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりに向け、性的マイノリティ支援に取り組めます。
取り組み	<p>平成 31 年 4 月 1 日より導入した LGBT などの性的マイノリティのカップルを市が公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」の利用促進を図るとともに、専門の相談員による LGBT 電話相談窓口を新設します。</p> <p>合わせて、パートナーシップ宣誓書受領証の提示により活用できる市の施策の拡大に向けて、庁内の連携を図るとともに、市内事業所等への周知を行い、性的マイノリティ支援への協力を呼びかけます。</p> <p>また、市民を対象にした啓発講座や職員を対象にした研修等を継続して実施することにより、多様な性への理解促進とアライ（当事者を理解して支える人）の育成に取り組めます。</p>
	平成 31 年度当初予算：727 千円

**9月末の
進捗状況
【〇】**

パートナーシップ宣誓制度については、7組の利用がありました。宣誓書受領証の提示により活用できる市の施策は引き続き担当課との調整を行い、実施に向けた取り組みを進めています。LGBT 電話相談は3件の利用がありました。さらなる利用促進に向け、周知を行います。

市民向け講座としては、市民参画型啓発事業「ウィル・フェスタ」においてトランスジェンダーのシンガーソングライター悠以さんによる講演会とコンサート等を実施し、広く市民に対して多様な性への理解促進を図ったほか、6月には職員向けハンドブックの改訂を行い、全課に向けて周知を行いました。

(1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

方向性	<p>長期的かつ計画的な行政運営を推進するため策定した「第5次枚方市総合計画」や「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向けて施策評価制度等による進行管理に努めるとともに、内容の総括を行い、新たに、次期実行計画・総合戦略の策定に努めます。</p>
取り組み	<p>引き続き、総合計画や総合戦略に掲げる施策を着実に進めるため、外部評価員の意見等を踏まえた第1期実行計画の総括を行い、次期実行計画の策定に向け、効果的な指標設定等を行います。また、社会増減や出生率の目標設定等の見直しを行ったうえで次期総合戦略の策定を進めるなど、効果的な施策立案を図ることで定住促進に向けた取り組みを図ります。</p> <p>本市への定住意向を示す市民の割合：90.1% 本市を住みよいと感じる市民の割合：81.5%</p> <p>平成31年度当初予算：463千円</p>

9月末の
進捗状況
【○】

前年度に実施した主要事業の実績や、施策指標の推移について、8・9月に外部評価員による意見・提案等をいただきながら検証・評価を行い、9月に施策評価の結果をホームページにて公表しました。

今後、次期実行計画の策定を目指し、第1期実行計画の総括を行うとともに、より適切な評価指標の設定へ向けた検証を進めていきます。あわせて、さらなる定住促進の取り組みを図るため、次期総合戦略の策定を行います。

(2) 財政状況の客観的な検証・分析

方向性	<p>将来にわたり安定した財政運営を進めていくため、本市の財政状況について外部の知見を取り入れた客観的な検証・分析を行います。</p>
取り組み	<p>引き続き外部有識者からの助言をもとに決算状況の分析・検証や財務書類の活用方法についての検討を進め、その結果を「枚方市の財政事情」に反映します。</p> <p>平成31年度当初予算：170千円</p>

9月末の
進捗状況
【○】

「枚方市の財政事情」の令和2年(2020年)3月の発行へ向けて、現在、取り組みを進めています。

(3) シティプロモーションの推進	
方向性	平成 30 年度に実施したシティプロモーション推進業務委託で整理したプランに基づき、行政と市民、事業者と一緒に枚方市のことを考え課題解決を図っていく「シティプロモーション推進プラットフォーム」や「ひらかたプロデューサーズ」などの取り組みを進めることで、本市の魅力・知名度の向上やシビックプライドの醸成を図り、定住促進・人口誘導につなげていきます。
取り組み	<p>シティプロモーションの推進</p> <p>シビックプライドをまちへの愛着や誇りなどから形成される人々の熱量（枚方温度）として把握し、その熱量を高め、伝え広げていくため、プランに基づく取り組みを進めていきます。</p> <p>①シティプロモーション推進プラットフォーム 市政への市民参加の機会拡充と、企業・大学等との連携強化を図るため、シティプロモーション推進プラットフォームの取り組みを進め、行政課題を共有するとともに、新たな施策の創出につなげます。</p> <p>②ひらかたプロデューサーズの運用 『ひらかたプロデューサーズ』が、自身の SNS を通じて本市の魅力を情報発信することで、知名度の向上とシビックプライドの醸成を図ります。</p> <p>③市内外に対する魅力の発信 定住促進・人口誘導につながる効果的な取り組みとして、子育て世代の親世代や、友人・知人からの口コミなど市内外のターゲットに対して本市の魅力を広く情報発信していきます。</p> <p>《目標値》（令和元年度(2019年度)まで) シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数：10 件 ひらかたプロデューサーズの登録数：150 件</p> <p>平成 31 年度当初予算：800 千円</p>

9 月末の 進捗状況 【△】	<p>シティプロモーション推進プラットフォームでは、摂南大学との「災害時のペットの同行避難」や、住友生命保険相互会社との「健康経営」の取り組みにおいて民間事業者と連携し、市の魅力向上に向けた取り組みを進めています。</p> <p>ひらかたプロデューサーズの運用においては、ひらかたプロデューサーズが、市テーマソングの歌詞作成やプロモーションビデオへの出演など、楽曲の制作過程に携わることで、機運の醸成を図るとともに、情報発信にもご協力いただきました。その他にも、市のフェイスブックにひらかたプロデューサーズ自身の取り組みを紹介し、情報発信に努めています。</p> <p>市内外に対する魅力の発信では、枚方まつりやパナソニックスタジアム吹田で開催されたガンバ大阪市民応援デーなど、市内外のイベントにPRブー</p>
-------------------------------	--

	<p>スを出展し、枚方の魅力発信を行いました。また、枚方への愛着をアンケートで数値化する「枚方温度調査」の実施等を通じて、枚方との関わりが深まる取り組みを進めています。</p> <p>シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数:2件</p> <p>ひらかたプロデューサーズの登録数：141件(平成30年度4月～令和元年度(2019年度)9月末)</p>
--	---

(4) ひらかたポイント制度の充実	
方向性	<p>市民・事業者等あらゆる主体との協働による、効率的・効果的な行政サービスの提供が求められている中、健康・長寿・子育てなど市の実施事業等へ参画した市民にポイントを付与し、市民の参画意欲の向上を図ることで、市民のまちづくりへの関心を高め、本市への愛着を深めるとともに、本市の魅力向上、地域経済の活性化につなげます。</p>
取り組み	<p>平成31年1月から運用を開始したひらかたポイント制度について、登録者の増加や協力店舗の拡大に取り組むとともに、対象事業の拡大を図ることで制度の充実を図ります。</p> <p>《目標値》(令和元年度(2019年度)まで)</p> <p>カード保有者数 100,000人</p> <p>協力店舗数 200店舗</p> <p>平成31年度当初予算：63,132千円</p>

<p>9月末の進捗状況 【○】</p>	<p>平成31年4月より、特定健診、各種がん検診等、ポイント付与対象事業を15事業に拡大したほか、京阪バスポイントサービスとの連携によりポイント利用範囲の拡充を行いました。</p> <p>カード保有者数は約40,000人、協力店舗数は約100店舗の状況にあるなか、今後は、枚方信用金庫、北大阪商工会議所(ひらかたポイント事務局)、株式会社Origamiと本市で、ひらかたポイント制度の普及・拡大を含む、地域経済の活性化を目的とする連携協定(令和元年(2019年)6月6日締結)に基づき、協力店舗の拡大に努めるとともに、市の対象事業の拡充、PRを効果的に進め、利用者の拡大及び制度の充実を図ります。</p>
--------------------------------	--

(5) 民間活力（窓口業務委託等）の活用推進

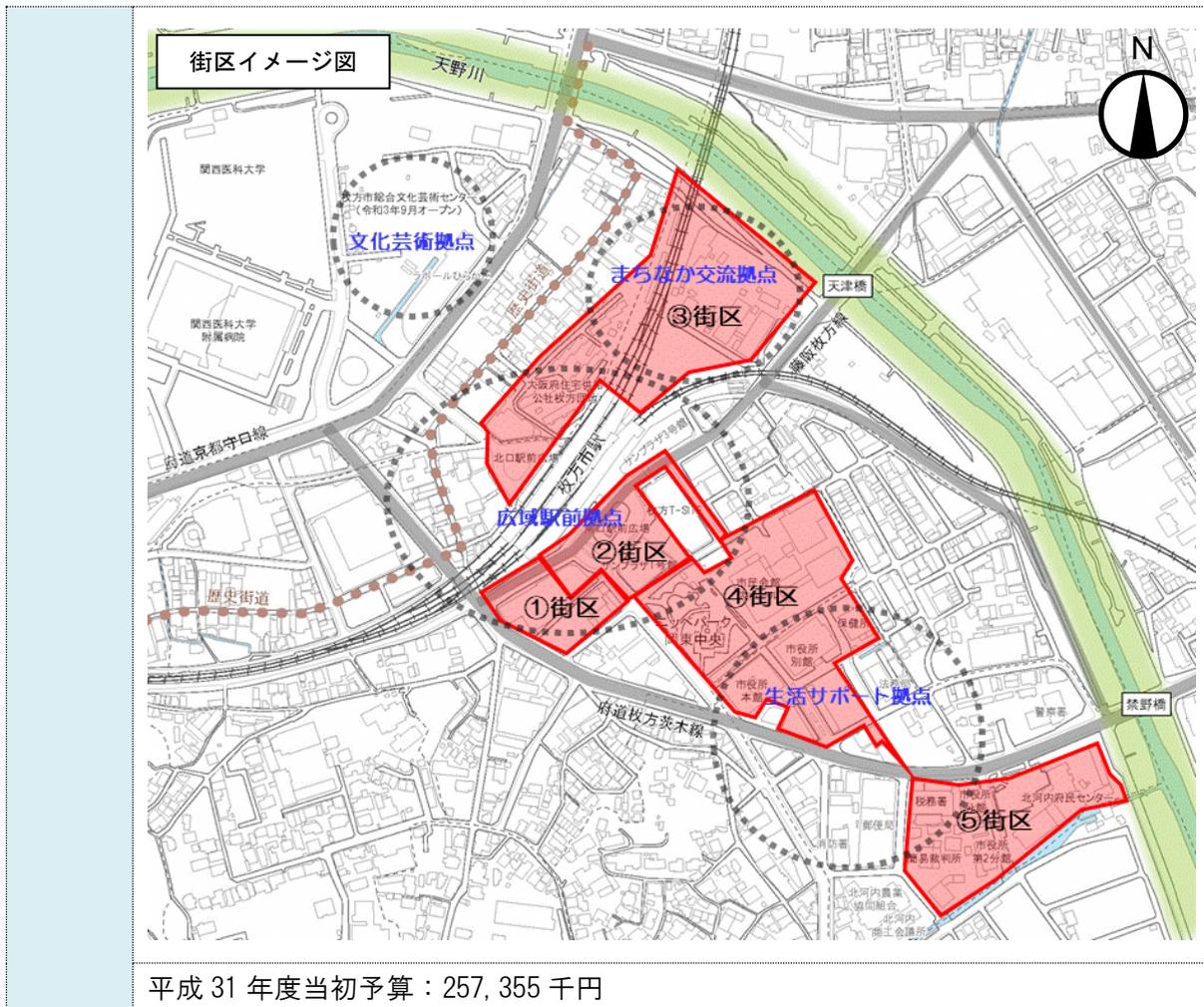
方向性	民間の持つ豊富な知識や経験の活用を図れるものや民間に委ねた方がより効率的・効果的な業務について、行政の役割と責任、市民サービスやコスト面への影響や、行政としてのノウハウの蓄積・継承等の観点を踏まえ、民間活力の推進に向けた検討を行ないます。
取り組み	窓口業務等のアウトソーシングの考え方を策定し、アウトソーシングを行う対象の業務の検討や導入スケジュール、仕様などについて他市事例等も参考に検討を進めます。

9 月末の 進捗状況 【○】

「窓口業務等のアウトソーシングの考え方」に基づき、対象業務についての精査やスケジュールの検討等を行いました。今後は、アウトソーシングの導入に向けて、さらに具体的な検討を進めます。

(1) 枚方市駅周辺再整備の推進

<p>方向性</p>	<p>枚方市駅周辺地域にある多くの地域資源を生かした魅力あふれる広域中心拠点の実現に向けて取り組みを進めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>枚方市駅周辺再整備については、より魅力的なまちづくりをめざすため、本市の財政状況を踏まえつつ、最適な事業手法や事業費、全体スケジュールに加え、さらなる民間ノウハウや投資を促す環境づくりを進めるとともに、枚方市駅周辺活性化協議会をはじめとする関係者と意見交換などを行いながら、枚方市駅周辺再整備基本計画を策定し、連鎖的なまちづくりの具体化を押し進めます。</p> <p>枚方市駅北口駅前広場から府住宅供給公社枚方団地、京阪電鉄枚方事務所を含むエリアである③街区については、駅前交通広場及び区画道路等の公共施設の整備による交通結節点機能の強化と合わせて、土地の高度利用による多様な都市機能の集積と都市居住の誘導を図るとともに、歩行者回遊動線の形成、防災機能の向上等を総合的に推進するため、引き続き、準備組合や国、府と連携して取り組みを進めます。また、新庁舎整備の検討とあわせて、現行の市駅前行政サービス機能を今後も継続するとともに、子育て支援機能や図書館機能の拡充などを、市民の利便性の良い枚方市駅前で実施できるよう検討を進めます。</p> <p>③街区以外の街区については、再整備基本計画及び新庁舎整備基本構想の策定と並行して、地権者との勉強会や情報共有を行なうなど、再整備に向けた機運の醸成に努めます。</p> <p>市駅周辺の活性化を促進するため、北大阪商工会議所や事業者との連携によるエリアマネジメントを推進します。</p>



9 月末の進捗状況【〇】

枚方市駅周辺再整備について、関係者と意見交換を行いながら、枚方市駅周辺再整備基本計画の策定に向けた取り組みを進めています。

③街区について、準備組合の支援を行い、市街地再開発事業の都市計画決定に向けた手続きを進めています。

新庁舎整備について、枚方市駅前行政サービス機能の再編に向けた取り組みや、新庁舎整備基本構想の策定に向けて、市駅周辺再整備基本計画の検討と連携を図りながら取り組みを進めています。

枚方市駅周辺での民間活力導入を促進するために、都市再生緊急整備地域の指定に向けて取り組みを進めています。

(2) 香里ヶ丘地域のまちづくり

方向性	香里ヶ丘地域のまち全体がさらに魅力あるまちへと発展していくため、香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の一体的な整備を契機に様々な取り組みを関係部署等と連携し推進します。
取り組み	<p>香里ヶ丘図書館の建て替えと香里ヶ丘中央公園の再整備については、図書館と公園の一体的な整備の考え方に基づき、まち全体のさらなる活力へ広げていくため、令和2年(2020年)夏のオープンに向け、図書館の建設工事、公園工事を実施します。</p> <p>また、香里ヶ丘地域においては、子育て環境の充実や高齢者の暮らしやすいまちづくりを進めるために、包括連携協定を締結しているUR都市機構や関係部署等と連携し子育て世代を呼び込む取り組みを進めます。</p>
	平成31年度当初予算：539,022千円(社会教育部)、33,000千円(土木部)

9月末の 進捗状況 【○】

香里ヶ丘地区の活性化に向け、香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的な整備の考え方を踏まえて、UR都市機構や関係部署等と情報の共有化を図りながら取り組みを進めています。

(1) マイナンバーカードの普及促進

方向性	臨時受付窓口の設置や効果的なPRを行うなど、マイナンバーカードの普及促進に取り組めます。
取り組み	昨年度、市駅市民室サービスセンターなどで行った臨時受付窓口について、今年度も継続するとともに、転入手続き時にチラシを配布するなど、市民室の来庁者にマイナンバーカードの取得を働きかけます。 ≪目標値≫ 人口に占めるマイナンバーカードの交付件数の割合 16% 平成31年度当初予算：0千円

9月末の
進捗状況
【0】

市民室に転入手続きに来られた方にはチラシを配布し、マイナンバーカード取得を働きかけています。今後の予定としては、12月に市駅市民室サービスセンターで臨時受付窓口を開設し、顔写真の無料撮影サービスなど普及に向けたキャンペーンを行います。

(2) 協働によるまちづくりの推進

方向性	地域課題が多様化・複雑化している中で、市民や市民団体（校区コミュニティ協議会、NPO）などと地域課題を共有し、信頼関係をより深めながら、協働によるまちづくりを進めます。 協働の実現のためには、職員の協働に対する理解をより深め、従来の形にとらわれない新たな発想が必要であり、全庁的な協働の機運を高めていきます。
取り組み	協働によるまちづくりをさらに推進するため、地域に市職員を配置する「地域担当職員制度」を平成28年度に導入し、校区コミュニティ協議会と定期的に情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組んでおり、今年度においても引き続き実施します。 また、校区コミュニティ協議会が校区の特色を活かして、地域の活性化を図るために実施する「地域づくりデザイン事業」がより活発に展開されるよう、地域の意見を聞きながら見直しを進めます。 さらに、行政とNPOとの意見交換会をひらかた市民活動支援センターと協働して実施するほか、協働ハンドブックを活用した職員研修を実施し、職員の協働の意識を高めていきます。 ≪目標値≫ ・地域担当職員が枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に参加する回数：12回（8回） ・行政とNPOとの意見交換会の回数：3回（2回） ※（）内は平成30年度実績 平成31年度当初予算：550千円

9月末の 進捗状況 【〇】	地域担当職員が、枚方市コミュニティ連絡協議会のブロック会議に6回参加し、校区コミュニティ協議会と情報交換を行うことで、地域の実情を把握するとともに、信頼関係の構築に向けた活動等に取り組んでいます。 行政とNPOとの意見交換会は、「みどりのプラットフォーム」と「受動喫煙の防止対策」をテーマに、8月に2回開催しました。
-----------------------------	---

(3) 枚方市地域防災計画の修正等について	
方向性	平成30年の大阪北部地震、台風21号は、本市がこれまでに経験したことのない規模の自然災害で、多くの被害を出しました。また、災害対応が長期化することで、様々な課題も浮き彫りとなりました。近年多発し、被害規模も大きくなる傾向の自然災害に備えるため、災害対応における課題を検証し、枚方市地域防災計画を含めた防災関係計画の修正等を実施します。
取り組み	上位計画となる国の防災基本計画および大阪府地域防災計画の修正内容を、枚方市地域防災計画に反映させるとともに、大災害時に他の自治体等からの支援受入れを円滑に行うことができるよう、枚方市受援計画を策定し、その内容と整合性を図るために枚方市業務継続計画（BCP）の修正を行います。さらに、これら防災関連計画の修正・策定を踏まえて、枚方市職員災害時初動マニュアルの策定にも取り組みます。
平成31年度当初予算：14,774千円	

9月末の 進捗状況 【〇】	地域防災計画及びその他計画について、素案を提示し庁内意見を集約しました。9月13日災害対策本部員会議を開催し、修正の方向性について合意形成を図りました。
-----------------------------	--

(4) 枚方ひこ防' z 2019の実施について	
方向性	平成30年6月18日に発生した大阪北部地震やその後の豪雨、台風と相次ぎ発生した災害は、行政としてはもとより、多くの市民にとっても、日頃から災害に備えることへの教訓となりました。近い将来必ず起きると言われている南海トラフ巨大地震など、甚大な被害をもたらす自然災害を見据え、市民一人ひとりが自助、共助の意識をさらに高め、地域防災力の向上を図るとともに、市やその他の関係機関の相互連携による総合的な災害対応力の向上をめざした市民参加型訓練を実施し、災害に強いまちづくりを推進します。
取り組み	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">開催日時</div> 令和元年（2019年）6月16日（日）9時～15時頃 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">訓練会場</div> 枚方市本庁舎別館、枚方市保健所、ラポールひらかた、船橋小学校・小倉小学校・春日小学校・菅原東小学校及び同周辺地域 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">内容</div> 市民参加型訓練

	○シェイクアウト訓練	○避難所開設・運営訓練
	○情報共有訓練	○企業との連携
市役所主体訓練		
	○災害対策本部訓練	○医療対策本部及び応急救護所開設訓練
	○福祉避難所開設訓練	○各部の災害対策本部訓練
防災ブース		
	○NPOによる防災学校	○企業ブース
	○地震車・煙道等体験	○レスキュー訓練展示
防災講話 等		
《目標値》		
参加者 4,000 人（訓練会場における参加者）		
平成 31 年度当初予算：0 千円		

9 月末の 進捗状況 【◎】	当初の予定どおり総合防災訓練を実施しました（訓練全体としての参加者数約 6,800 人）。7 月 2 日には、京都大学防災研究所、人と防災未来センターにも参加いただき、訓練成果について認識を共有するとともに、課題等を明らかにするための振り返り会議を実施しました。
-------------------------------	---

（5）消費者被害対策の推進	
方向性	消費者問題が複雑化・多様化する中、消費者被害の未然防止を図るため、情報発信や啓発を積極的に行います。また、幅広い消費生活に関する知識を身につけていただくため、消費者教育の機会を提供します。
取り組み	市民向け・若者向け講演会や教育機関への消費者教育支援等を通し、消費生活における的確な意思決定・行動が出来る消費者の育成に努めます。また、市内各所での PR 活動を通じて、幅広い年齢層を対象に消費生活センターを周知します。あわせて、平成 31 年 4 月 1 日に設置した「消費者安全確保地域協議会」での連携により、高齢相談者等への取組の強化を図り、消費者被害の未然防止・早期解決に繋がります。 《目標値》 消費生活セミナー等講演会への参加者数 8,000 人（9,188 人） ※（）内は平成 30 年度実績。
	平成 31 年度当初予算：1,912 千円

**9月末の
進捗状況
【〇】**

消費者教育に関しては、市民向け講演会等を16回、市立小学校2校で講演会を実施しました。また、枚方市駅、樟葉駅での啓発物の配布をはじめ、公共施設の液晶モニターや市役所壁面への横断幕の掲示等を通じて、消費者ホットライン188（いやや！！）を幅広い年齢層へ周知し、消費者被害の未然防止に努めました。

あわせて、配慮を要する高齢者への取り組みを強化するため、今年度4月1日に設置した「消費者安全確保地域協議会」での連携により、高齢相談者等への取組の強化を図り、消費者被害の未然防止・早期解決に繋げました。

(1) 電子申請の拡充

方向性	市民の利便性向上や行政事務の効率化・高度化を実現するため、電子申請サービスの拡充を図ります。
取り組み	各部署で所管する申請・届出等の手続について、オンラインによる電子申請サービスの拡充を図るため、汎用的なシステムを導入します。また、来庁者の申請手続きに係る窓口対応の時間短縮を図るため窓口支援システムを導入し、市民の利便性向上の取り組みを進めます。

**9月末の
進捗状況
【○】**

電子申請サービスの拡充を図るため、市ホームページのウェブホーム機能を活用した簡易電子申請サービスの導入に向けた調整を行いました。また、窓口支援システムについては、7月に情報提供依頼（RFI）を実施し、情報収集するとともに、10月には関係課によるワーキンググループを開催しました。また、翌年2月にはシステムの試行実施による効果検証を実施します。

(2) AI・ロボティクス等の技術を活用した業務の効率化

方向性	AI・ロボティクス等の情報通信技術（ICT）を活用し市民の利便性向上や行政事務の効率化を図る取り組みを進めます。
取り組み	業務の効率化及び時間低減を推進するため、定例的なパソコン業務等を自動的に処理できるRPAの更なる活用を推進するとともに、RPAと組み合わせることで相乗的な効果を得られるAI-OCR等の最新技術の活用を検討し、導入を図ります。

**9月末の
進捗状況
【○】**

現在7部署でRPAを活用し、月間約170時間の業務時間削減効果が出ており、随時RPAの適用業務をヒアリング等により追加しています。AI-OCRは業務による活用が可能であるか約25部署にて検証を進めており、帳票の様式、運用等をICTの活用ができるよう改善に取り組んでいます。

(3) 長時間労働の縮減と働き方改革の推進

方向性	長時間労働の縮減や休暇取得の促進を図るとともに、今後、行政事務の効率化・高度化の観点から本市で取り組みを進める情報化の技術も活用しつつ、職員のワーク・ライフ・バランスを推進します。
取り組み	<p>職員のワーク・ライフ・バランスを推進する観点から、長時間労働の縮減を図るため、時間外勤務の上限（原則として月 45 時間、年 360 時間）を超えないための実効性のある取り組みを進めるとともに、引き続き年次有給休暇の取得や時差勤務形態の促進について取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>時間外勤務の縮減 10%（対平成 29 年度実績）</p> <p>年次有給休暇の職員 1 人当たりの取得日数 年 12.6 日</p>

9 月末の 進捗状況 【○】

長時間労働の縮減を図るため、時間外勤務の上限規制を行うとともに、各所属における業務量の平準化や、所属長から時間外勤務の上限時間の超過見込時における事前報告を求めるなどの取り組みを行っています。また、その取り組みの一つとして、令和 2 年（2020 年）1 月からの PC シャットダウンシステムの導入に向けた準備を進めています。

年次有給休暇などの取得促進の取り組みとして、4 半期ごとの健康管理年休にかかる通知のほか、ワーク・ライフ・バランス通信の発行など、計画的に休暇取得できるよう職員への啓発を行っています。

(4) 時代に順応した人材育成のさらなる充実

方向性	行政分野における今後の情報通信技術の利活用を踏まえ、職員に求められる能力・資質を的確に捉え、それらの研鑽を進めることで時代に順応した人材育成の充実を図ります。
取り組み	<p>人材育成のさらなる充実を図るため、人材育成推進体制の整備として、「研修事務の包括的委託」を検討します。また、現在実施している基本研修などのあり方を見直し、時代に順応した研修体系のスリム化を進めます。</p> <p>さらに、今の時代に求められる能力や資質を的確にとらえた、本市職員としてのあべき姿・職員像を掲げた人材育成の方針を策定します。</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>研修事務の包括的委託については、各職制（主任～課長）への昇格年度に行う新任者研修について、これまでは職制毎に研修会社へ依頼していたが、今年度はすべての職制を一括して研修会社へ依頼することで、一貫した内容の研修を実施することができました。また、類似科目の統合によるスリム化を行うなど、一部研修のあり方について見直しを行いました。</p> <p>人材育成基本方針については、外部の専門家や庁内の若手職員から意見・提案等を聴取しながら、今の時代に求められる能力や資質の検討を行いました。引き続き、年度内の改訂に向けて取り組みます。</p>
------------------------------	---

(5) 文書管理の適正化の推進	
方向性	行政事務が適正かつ効率的に運営され、市の諸活動の説明責任が果たされるよう、文書の適正な管理に関して必要な施策を進めます。
取り組み	今年度から稼働した文書管理システムを運用し、文書の発生から廃棄に至るまでの事務を適正かつ効率的に管理し、さらなるペーパーレス化を図るとともに、より検索性が高く、効率的な文書の保管ができ、省スペース化も期待できるファイリングシステムの導入に向けた検証に取り組みます。
平成 31 年度当初予算：9,912 千円	

9月末の 進捗状況 【○】	<p>旧システム時の倍以上の件数が文書登録され、管理の一元化が図られています。後期にかけ、年度当初に作成したシステム運用に関する基準をより充実させ、文書管理のさらなる統一化を図ります。ファイリングシステムについては、導入に向けた研修の成果を踏まえ、後期にかけて一部の部署でモデル実施に取り組みます。</p>
------------------------------	---

(1) 民間提案制度の実施

方向性	本市が保有する資産を有効に活用し、新たな財源確保を図るとともに、事業者にとっても企業価値の向上等につながるよう、ネーミングライツを含めた民間事業者等の創意工夫を生かした提案を募集します。
取り組み	平成30年7月から、枚方市市有資産民間提案制度を開始し、岡東中央公園についてネーミングライツ契約を締結しました。今後も引き続きネーミングライツ契約の締結を推進するとともに、より効果的な市有資産の有効活用を推進します。

9月末の
進捗状況
【○】

8月末に締切ったネーミングライツの募集については、歩道橋や駅前広場花壇等、複数の施設に応募があり、契約締結に向けて手続きを進めています。また、市有地等の有効活用については、元仮称北山社会教育施設用地の貸付について、10月に公募を開始し、11月に条件付一般競争入札を実施する予定です。

(2) 公共施設マネジメントの推進

方向性	今後老朽化が懸念される公共施設について「枚方市公共施設マネジメント推進計画」に基づき、機能の見直しや「更新」「統廃合」「長寿命化」などを計画的に行うことにより財政負担の軽減・平準化を図るとともに、最適な施設配置を実現できるよう、公共施設マネジメントを全庁横断的に推進します。
取り組み	平成30年度に実施した一次評価（定量評価）により二次評価の対象となった施設及び築30年以上となる施設を対象に、二次の定性評価を行います。また、個別施設計画の骨子を作成するとともに、施設評価の結果を踏まえて同計画の策定に向けて取り組みを進めます。
	平成31年度当初予算：682千円

9月末の
進捗状況
【○】

平成30年度に実施した一次評価（定量評価）により二次評価の対象となった施設及び築30年以上となる施設を対象に、二次の定性評価を行い、公表しました。また、令和2年度の個別施設計画（総合編）の策定に向けて、骨子の作成を進めています。

(3) 未収金対策の強化

方向性	<p>市税については、これまで現年度課税分に重点を置いた徴収を行うことにより滞納繰越を防止する取り組みや、債権を中心とした適正な滞納処分の執行等の取り組みにより、平成29年度に徴収率98.6%を達成しました。今後も引き続き徴収率の維持・向上に努めます。</p> <p>税外債権については市債権管理及び回収に関する条例に沿った適正で効率的な事務処理を行い、未収金の縮減に向けて取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>市税の収入確保については、滞納整理にあたって、これまで効果のあった取り組みを充実させ、滞納繰越額をさらに縮減させていきます。</p> <p>税外債権については、平成30年度から参加した大阪府域地方税徴収機構へ引き続き参加することとし、市債権管理及び回収に関する条例に沿った適正で効率的な事務処理を行うため、平成30年度に雇用した弁護士職員を有効に活用し、未収金対策強化の取り組みを進めます。</p> <p>《目標値》 市税の徴収率：98.6%</p>

9月末の 進捗状況 【〇】	<p>市税の収入確保については、滞納整理にあたって、これまで効果のあった取り組みに工夫を加え、滞納繰越額のさらなる縮減に努めています。</p> <p>大阪府域地方税徴収機構に職員が参加することで、市税等の徴収スキルの向上を図っています。弁護士職員は、債権所管課の支払い督促の指導助言を行い未収金対策の強化を図っています。</p>
------------------------------	--

(1) 観光施策の戦略的推進

<p>方向性</p>	<p>淀川上流域も含めた舟運など、観光資源を生かしながら、市民が愛着を持ち、多くの人が訪れたいと思える魅力的なまちづくりを進めるため、平成29年度に策定した「観光施策に関する考え方」に基づき、公民連携で役割分担をしながら、マーケティング手法を取り入れた観光施策を戦略的に進め、東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博等を控え、インバウンドも見据えた交流人口の拡大を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>民間事業者など幅広い関係機関との意見交換の場において、市で収集した観光に関する基本データを共有し、公民連携による戦略的な観光地域づくりの方向性を検討します。また、魅力あるコンテンツの創出及び情報発信力の強化に向け、マーケティングの観点から消費動向や動態データなどを継続的に収集・分析し、魅力ある観光資源の創出や公民連携による観光冊子を作成するとともに、インバウンドを含む交流人口の増加につながる効果的な新たな情報発信の手法について検討を進めます。</p> <p>≪目標値≫定期利用者数を除いた市内主要駅の乗降客数の増加：年間約8千人増 平成31年度当初予算：3,400千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

観光地域づくりの方向性については、現在交通事業者や金融機関等民間事業者など幅広い関係機関との意見交換の実施に向けて準備を進めており、今年度中に、大阪観光局と連携したインバウンド向けの体験コンテンツの整備などを含め、取り組みを行います。観光冊子については、読者アンケートや掲載店等からの情報の収集・分析を行い、上半期で2回発行しました。また、部の若手職員で新たに立ち上げた情報発信ワーキンググループで、市ホームページの観光コンテンツの拡充に取り組んでいます。

(2) 新たな事業者等への支援

<p>方向性</p>	<p>主体的に活性化に取り組む商店街等を支援する、「商店街等活性化促進事業」を、引き続き実施するとともに、市内で創業を目指す方の裾野を広げるため、個人で販売を行っている方が、新たに起業できるよう、創業支援の充実を図ります。</p> <p>また、市内商業の振興に向けて、空き店舗の活用につながるセミナー事業を充実します。</p>
<p>取り組み</p>	<p>「商店街等活性化促進事業」における“空き店舗活用事業”のさらなる活用促進を図るため、事業のPR等を行います。また、地域活性化支援センターにおいて取り組んでいる、創業・経営に関する相談や、商店街活性化セミナー等を精査し、効果的</p>

	<p>な支援につながるよう、より一層、ニーズの把握に努め、各種事業を実施します。併せて、創業を志す時期から創業後のフォローまで一貫した支援に取り組むとともに、市内商店街等で創業を志すきっかけとなる事業を、新たな視点で行います。起業家への支援活動における、他市の先進事例等を調査し、本施策の拡充、事業間連携の可能性等について検討を行います。</p>
	<p>平成 31 年度当初予算： 44,500 千円</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>空き店舗活用事業の PR の一環として、4 月に市内商店街に直接案内文を送付しており、今後、枚方市立地域活性化支援センターのアドバイザーが市内商店街訪問時において、各事業の PR を予定しています。枚方市立地域活性化支援センターに対するニーズの把握については、事業者からの相談時でのニーズの掘り起こしや、セミナー時にアンケートを取得する等行っており、これらのニーズを反映した商店街活性化セミナーを来年 2 月の開催に向けて準備を進めています。</p> <p>また、起業家への支援活動における、他市の先進事例については、今年度内に調査完了の予定です。</p>
--------------------------------------	---

(3) さらなる賑わいの創出に向けた地域資源の情報発信	
<p>方向性</p>	<p>「七夕伝説」をはじめ、「枚方宿」「舟運」といった本市の地域資源の魅力の紹介や各種イベント開催などの情報発信の取り組みを進めることで、市内外からの交流促進、賑わい創出につなげます。特に「七夕伝説」についてはより一層認知を広めるため、重点的に PR に取り組みます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>「七夕伝説」ゆかりのまちを市内外に PR するため、「七夕」を発信するイベント開催などの取り組みを公民連携で進めながら、本市における「七夕」に関する伝承など様々な情報を通年発信していきます。また、枚方宿地区まちづくり協議会の活動を活かした街並みの形成を促進する取り組みや、賑わいづくりに向けた活動を支援するとともに、「枚方宿」の魅力を広く紹介する情報発信を進めます。「こうした地域資源の発信力を高めることで、まちの交流促進と賑わいの創出につなげていきます。</p>
	<p>平成 31 年度当初予算： 2,050 千円</p>

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>「七夕伝説」ゆかりのまちをPRするため、夏の七夕イベントとして「七夕ジャンボ笹飾り」を実施しました。市内の保育所や小学校の子どもたちをはじめ市民からの願い短冊で飾られた8メートル級のジャンボ笹と市民団体との協働で制作した竹灯りを設置し、ライトアップ。これにあわせてコンサートや「七夕物語」の上映を行いました。また、産学公協働の枚方・交野天の川ツーリズム推進協議会では、「七夕」ゆかりの解説やスポットなどをデザインしたクリアファイルを作成し、様々なイベントで広く配布するなどPRに取り組みました。</p> <p>枚方宿地区まちづくり協議会が初めて取り組んだ枚方宿くらわんか五六市（夕市）「五六のあかり」の竹灯籠（約200個）の制作に際し、産学公の連携による支援を行い、約5,000人の賑わい創出につなげました。今後も、観光ホームページの開設など「枚方宿」の魅力を広く発信する取り組みを進めていきます。</p>
-------------------------------------	--

<p>（４）農業の魅力や楽しさを発信</p>	
<p>方向性</p>	<p>農業に関心のあるシルバー世代（アクティブシニア）を主たる対象とした体験型農園での有機野菜づくりを通じて、農業の魅力や楽しさを発信し、農業の新たな担い手の育成につなげます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>パイロット事業「ちょっと本気の野菜づくり講座」を昨年度より期間を延長して実施し、より一層の参加を募るため、後期（半期分）からの追加募集も行います。</p> <p>また、2カ年の実績を検証した上で令和2年度（2020年度）からの本格実施を目指し、併せて終了生がグループで農地を借りて、営農できる仕組みも検討し、遊休農地の利活用に繋げます。</p>

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>平成30年度に引き続き、農業に関心のある市民に体験型市民農園での野菜づくりに親んでもらうパイロット事業（ちょっと本気の野菜づくり講座）を4月から実施しています。参加者共同の作業など仲間づくりにつながるメニューも実施しており、「グループ営農」による農地の貸出について、検討を進めています。なお、後期（半期分）からの追加募集については、今回の講座内容では現受講者と習熟度の差など課題が生じることから行わず、来年度からは半期受け入れができるように講座内容の見直しを行います。</p>
-------------------------------------	---

(5) 特産物の創出と6次産業化

方向性	さらなる都市農業の活性化を図るため、特産物（農産物）の創出と、商工業者との連携による6次産業化を進めます。
取り組み	<p>農業特産物の取り組みと販路の拡大</p> <p>枚方の土壤に適した特産物の品目・品種を大阪エコ農産物の基準で選定し、市内生産者団体の協力を得ながら、試験栽培に取り組み、併せて6次産業も視野に商工業者等とも連携した販路の拡大にも取り組みます。</p> <p>6次産業化の取り組み</p> <p>農業者と商工業者とのマッチングの機会を設け、地産地消を推進します。</p> <p>なお、昨年度に6次産業化を進めたモデル事例の枚方産さつまいも鯛焼きについては、サツマイモを倍増するとともに、収穫体験の機会を設けるなど商品化のPR強化に繋がります。</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

農業特産物の創出に向けた第一段の取り組みとして、市内生産者団体9団体32農家の協力を得て、令和元年9月から令和2年5月の期間でタマネギの試験栽培に取り組んでおり、現在、苗の育成中です。

6次産業化の取り組みの枚方産さつまいも鯛焼きについては、昨年度の実績600袋に対して、今年度は3,000袋を予定しており、10月にはサツマイモの収穫を予定しています。また、枚方産タマネギを使用した枚方ビールカレーの開発にも取り組んでおり、来年度内の販売に向けて準備を進めています。

(6) 枚方市総合文化芸術センターの整備

方向性	<p>多彩な文化芸術の鑑賞をはじめ、市民の創作活動の発表機会を促進し、集客と賑わいを創出する文化芸術の拠点施設となる枚方市総合文化芸術センターの整備を令和3年度（2021年度）の開館を目指して着実に進めます。</p> <p>また、枚方市総合文化芸術センターの利用規則を定め、運営事業者の選定に着手します。</p>
取り組み	<p>昨年10月に着工した枚方市総合文化芸術センターの整備を着実に進めていくとともに、メセナひらかた会館を枚方市総合文化芸術センターの別館として一体的な運営を行っていくための改修設計を行います。</p> <p>また、枚方市総合文化芸術センターの休館日や開館時間、使用料などを条例で定め、同センターを運営する事業者の業務内容を決定し、公募による選定を開始します。</p> <p>平成31年度当初予算：2,472,962千円</p>

9月末の 進捗状況 【△】	<p>枚方市総合文化芸術センターは、令和3年3月の完了予定を目指して工事を進めています。メセナひらかた会館の改修設計は令和2年度に実施する予定です。</p> <p>今後、休館日や使用料を含む枚方市総合文化芸術センター条例の改正案を令和元年12月定例会に提出し、令和2年1月から、指定管理者の公募による選定を開始する予定です。</p>
------------------------------	--

(7) 文化芸術の拠点形成に向けた取り組み	
方向性	<p>枚方市総合文化芸術センターの開館への機運を高めるため、開館プレ事業を展開し、文化芸術の拠点形成に向けた土壌づくりを行います。</p> <p>また、「枚方市文化芸術振興計画」に基づき、子どもや若い世代の文化芸術活動の充実を図り、本市における文化芸術の裾野を広げます。</p>
取り組み	<p>文化芸術の拠点形成に向けた機運を高めていくため、平田オリザ氏をはじめとする4人の文化芸術アドバイザーによるワークショップなどを実施するとともに、連携協定を締結した大阪フィルハーモニー交響楽団による芸術公演の鑑賞機会の提供や市内中学生を対象にオーケストラ鑑賞の機会の提供を行うなど、文化芸術事業の充実を図ります。</p> <p>また、本市ゆかりの若手芸術家による「枚方市アーティストバンク」を設置し、実力ある若手芸術家を発掘するとともに、小学校等へのアウトリーチや市主催支援事業「アート・スプラウト」に出演していただくことで、芸術家の支援と文化芸術に触れる機会の充実に努めます。</p> <p>平成31年度当初予算：21,003千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>4人の文化芸術アドバイザーによるワークショップや大阪フィルハーモニー交響楽団による芸術公演の鑑賞機会を計画どおり提供します。また、令和元年9月5日に、本市で初めての取組みとなる中学生対象のオーケストラ鑑賞会を実施しました。</p> <p>「枚方市アーティストバンク」を設置し、枚方ゆかりの実力ある若手芸術家に発表の機会をつくる「アート・スプラウト」を1回主催しました。今後、「アート・スプラウト」を4回開催するほか、小学校と福祉施設、病院の計20か所でアウトリーチ事業を実施します。</p>
------------------------------	--

(8) プレミアム付商品券事業

方向性	市内商店等において使用できる低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券を発行し、消費税・地方消費税の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えします。
取り組み	国のプレミアム付商品券事業実施要領に基づき、6月から9月にかけて商品券発行に係る各種の取り組みを進め、9月24日から本庁舎及び支所等において「枚方市プレミアム付商品券」の販売を行います。(商品券は10月1日より使用開始) 《目標値》 商品券取扱店舗：1,000店 ※幅広く参加店舗を公募 平成31年度当初予算：660,890千円

9月末の 進捗状況 【〇】

6月28日以降、低所得者分対象者59,164人に商品券購入引換券交付申請書を送付しました。7月1日から申請受付を開始し、審査のうえ9月19日以降、該当者15,462人に購入引換券を送付するとともに、子育て世帯主9,390人に購入引換券を送付しました。

今回のプレミアム付商品券は、購入引換券1枚につき最大5冊まで購入でき、1冊5,000円分(500円券10枚つづり)を4,000円で販売しています。

9月24日から市役所本館及び支所等において販売を開始し、20,920冊(売上金額83,680千円)を販売しました。

商品券取扱店舗については、7月1日から公募により登録申込を開始し、市内商店等957店(目標達成率95.7%)を登録しました。

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

方向性	市内の公的病院や医療系大学、関係団体などが協定を締結し設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」を活用して、各構成団体と連携しながら各種健康医療関連事業を実施し、市民の健康増進に繋がります。
取り組み	<p>コンソーシアムに掲げる8つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害時における医療救護体制の強化をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。また、コンソーシアム連携事業として、第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを10月に実施し、健康医療について市民への啓発を図ります。さらに、コンソーシアム連携事業として取り組む新規事業について検討します。</p> <p>《目標値》 コンソーシアム連携事業への参加人数：12,000人 (実績：平成30年度 5,808人)</p> <p>平成31年度当初予算：954万1千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

構成団体と連携して、各種の市民向け講座等の実施や、学校における健康教育等を行いました。また、市内医療機関への医療通訳士派遣を実施し、9月末時点で300件の利用がありました。

第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを、10月27日に実施します。

(2) 救急医療体制の整備

方向性	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から関西医科大学附属病院の高度救命救急医療機関まで、救急医療体制が整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転に伴う総合的な初期救急医療体制の再構築を進めます。
取り組み	<p>関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、昨年度に引き続き、市立ひらかた病院整備後の有効活用地へ移転する医師会館及び休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、運営及び費用負担等について、関係諸団体、諸機関と協議・調整を行います。</p> <p>平成31年度当初予算：2億2311万5千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	休日歯科急病診療所、関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行うとともに、北河内夜間救急センターについては、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めています。また、総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、引き続き運営及び費用負担等について、関係諸団体及び諸機関との協議・調整を進めています。
------------------------------	---

(3) 災害時の医療救護体制の強化	
方向性	災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。
取り組み	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて策定した「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を、より実効性のあるものとするため、関係機関と協議・調整を行いながら連携強化に努めます。また、10月に拠点応急救護所設置病院の一つである枚方公済病院において実践を想定した災害医療訓練を行い、関係機関との連携強化を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）：令和元年度（2019年度）までに80%（実績：平成30年度までに60%実施）</p> <p>平成31年度当初予算：155万7千円</p>



9月末の 進捗状況 【○】	災害時の医療救護体制の強化に向け、6月の総合防災訓練「枚方ひこ防'z2019」において、拠点応急救護所設置訓練を実施しました。10月9日に実施する枚方公済病院との連携訓練に向けて、関係機関との協議・調整を進めるとともに、9月に部内職員を対象とした市域の災害医療救護活動に係る研修会を実施し、理解を深めました。また、「枚方市拠点応急救護所設置・運営マニュアル」策定に向け、人員配置や医薬品、資機材の備蓄等について関係機関と協議を進めています。
------------------------------	--

(4) 医療費適正化に向けた取り組みの推進	
方向性	国民健康保険被保険者の健康の保持・増進に向け、生活習慣病予防や重症化予防につながる特定健康診査をはじめとする各種保健事業の受診率・利用率の向上に向けた取り組みを拡充し、医療費適正化を図ります。
取り組み	<p>特定健康診査・特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防事業について、「ひらかたポイント」の対象事業とするとともに、おおさか健活マイレージ「アスマイル」の周知を図り、受診率・利用率の向上を図ります。また、健康への関心や健診受診への意識を高めるため、簡単にセルフチェックができる「生活習慣病チェックサイト」の周知を行うとともに、若年層向けに実施しているスマートフォンを利用した簡易な健診の利用促進を図ることで、特定健康診査対象年齢に達した時に受診につながるよう啓発に努めます。</p>

《目標値》

特定健康診査受診率 60% (国目標)

(実績：平成 29 年度受診率：33.7%)

平成 31 年度当初予算：415,980 千円

**9 月末の
進捗状況
【○】**

「ひらかたポイント」について、特定健康診査受診券にチラシを同封し、健診対象者全員に周知を行うとともに、おおさか健活マイレージ「アスマイル」については、納付通知書にチラシを同封し、国民健康保険加入の全世帯に周知を行いました。

また、スマートフォンを利用した健診ツールである「スマホ de ドック」について、対象者（国民健康保険加入の 30 歳、35 歳、39 歳）に案内状を送付しました。

引き続き、機会をとらえて周知・啓発を行い、受診率・利用率の向上に努めていきます。

(1) 働く世代の健康づくり支援

方向性	<p>生活習慣病予防やメンタルヘルス対策を行うには、生涯を通じた健康づくりを支援する必要があります。がんをはじめとする生活習慣病やメンタルヘルスの不調は、働き盛りの年代に端を発していることが多く、健康で長く働き続けるためには企業が健康づくりに取り組むことが重要です。特に、今年度は、健康増進法の改正や法よりも厳しい基準を定めた大阪府受動喫煙防止条例（平成31年3月制定）に基づき従業員への受動喫煙を防止する取り組みを支援していきます。企業が健康投資を行うことは、業績向上やイメージアップにつながると期待されており、経営戦略として従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」へと繋がるよう、企業が従業員に対して行う健康づくり活動を保健所が支援し、働く世代の健康に対する意識の向上を図ります。</p>
取り組み	<p>「ひらかた健康優良企業」に登録された企業に対して、健康づくりの取り組みを企業とともに検討し、健康に関する情報提供や企業への健康教育などの支援を積極的に行います。また、市のホームページに掲載するなど、健康づくりを通じて企業のイメージアップを図ります。</p> <p>また、受動喫煙防止対策については、オール大阪で取り組む大阪府受動喫煙防止条例の趣旨を踏まえ、受動喫煙防止対策に係る周知・啓発及び監視体制を整備します。</p> <p>《目標値》</p> <p>ひらかた健康優良企業への健康教育の実施回数：20回（13回）</p> <p>※（）内は平成30年度実績。</p> <p>平成31年度当初予算：298千円</p>

9月末の
進捗状況
【O】

9月12日開催の「たまゆらフェスタ」に参加し、枚方市内の企業に対して、「ひらかた健康優良企業」のPRを行いました。枚方体育協会と協力し、健康経営セミナーを10月3日に開催予定。「ひらかた健康優良企業」にも案内するとともに、ホームページ等で周知を行いました。

また、「ひらかた健康優良企業」のうち、女性のがんについて2社・腰痛予防1社に対して健康教育を実施したほか、歯科に関する健康相談を1社に対して行いました。

(2) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

方向性	<p>安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。</p>
-----	--

取り組み	<p>平成 30 年度に改正旅館業法が施行され、また、令和元年度（2019 年度）より改正食品衛生法が順次施行される中、HACCP（ハサップ）による食品衛生管理の手法等、新たな衛生基準を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>生活衛生に係る健康危機事象発生件数：0 件(1 件)</p> <p>※（）内は平成 30 年度実績。</p>
	平成 31 年度当初予算：15,204 千円

<p>9 月末の進捗状況 【○】</p>	<p>食品等事業者に対して業種別講習会、窓口にて HACCP に沿った衛生管理の手法について普及・啓発し導入を推奨しました。また国等が行う説明会や府域自治体で組織するワーキンググループに参加し、衛生管理計画作成を指導するための専門知識を習得するとともに、関係条例の改正や新基準の指導・啓発内容の検討を進めています。</p>
---------------------------------	---

（3）風しん対策事業の拡充	
方向性	<p>風しんの発生及びまん延防止、さらに新生児の先天性風しん症候群の発生を防ぐことを目的に、妊娠を希望する女性やその配偶者及び妊婦の配偶者を対象とした、風しん対策事業を継続するとともに、新たに抗体保有率の低い世代の男性を対象とした追加的対策を実施します。</p>
取り組み	<p>現在の風しん対策事業に加え、新たに風しんの抗体保有率の低い昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までの間に生まれた男性に対し、無料で抗体検査を実施し、抗体を持たない者を対象に定期予防接種を行います。また、特に抗体保有率が低いとされている年代（約 2 万 1000 人）に対し検査および予防接種の無料クーポン券を配付し、周知啓発に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>抗体検査：実施者数 6,100 人（1,420 人）</p> <p>予防接種：接種者数 2,300 人（950 人）</p> <p>※（）内は平成 30 年度見込み実績。</p>
	平成 31 年度当初予算：57,563 千円

<p>9 月末の進捗状況 【○】</p>	<p>広報ひらかたや市のホームページ、取扱医療機関でのポスター掲示などで啓発を行い、令和元年（2019 年）6 月に抗体検査及び予防接種の無料クーポン券を 21,286 件発送しました。</p> <p>全国のどこの取扱医療機関でも、抗体検査及び予防接種が受けられる環境が整いましたので、引き続き周知啓発を行っていきます。</p>
---------------------------------	--

(4) 自殺予防対策の推進

方向性	誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができるように、社会全体で生きることの包括的な支援を行い、市民一人ひとりが心身ともに健やかに暮らせる「ひらかた」を目指します。
取り組み	<p>平成31年3月に策定した「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画・令和元年度（2019年度）から令和5年度（2023年度）」に基づき、あらゆる場面において、自殺の危険を示すサインを見逃さず、適切な対応を果たすゲートキーパーを養成するため、従来から実施している市民向けの研修に加えて、職員向けの研修を実施し、自殺予防の役割を担う人材のさらなる養成に取り組みます。また、児童・生徒への支援の1つとして「子どものSOS出し方教育」の実施に向けた体制整備を図ります。</p> <p>《目標値》（令和5年度（2023年度）までに達成）</p> <p>ゲートキーパー養成研修受講者が所属する課（庁内）の割合：100%</p> <p>ゲートキーパー養成研修受講後「理解できた」と回答する者の割合：70%以上</p> <p>※平成31年度からの新たな取り組みのため平成30年度実績はなし</p> <p>平成31年度当初予算：4,533千円</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

8月2日（金）に職員向けゲートキーパー養成研修を実施しました。

- ・参加した市職員数：135名
- ・ゲートキーパー養成研修受講者が所属する課（庁内）の割合：89.91%

今後も、市民向けのゲートキーパー養成研修を開催するなど、自殺予防の役割を担う人材の養成に引き続き取り組んでいきます。

また、「子どものSOS出し方教育」については、次年度以降の実施に向け、保健予防課と教育委員会学校教育部で具体的な実施方法などについて協議を進めます。

(5) 妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援の更なる推進

方向性	安心して楽しく子育てできる環境の充実に向けて、子育ての不安感や孤立感を取り除き、喜びを感じながら子育てができるよう、妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない支援をさらに推進します。
取り組み	<p>妊娠・出産・子育てに不安や悩みを抱える人が必要な支援につながるよう、相談窓口や産後ケア事業等の更なる周知を行うとともに、連携会議（母子保健推進連絡会、産前産後サポート部会）等を通して、医療機関・助産所と妊産婦支援の課題を共有し、連携強化を図ります。</p> <p>また、妊娠・出産から子育て期に引き続き、成人・高齢期まで切れ目なく、地域で健康や子育てに関する相談・支援を実施する拠点として、北部支所内に開設した「すこやか健康相談室 北部リーフ」の効果と課題を整理し、他部署・関係機関との連携を含め、より効果的な地域拠点のあり方を検討します。</p> <p>平成31年度当初予算：355,353千円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

8月8日に産前産後サポート部会を実施し、市内の産科医療機関・助産所と産後ケア事業等についての周知依頼及び意見交換を行いました。「すこやか健康相談室 北部リーフ」は、身近な地域でいつでも相談できるため、妊娠、子育てに関することから高齢者まで、来所での相談が増加しています。また、北部地域の関係機関やコミュニティとの連携が密になったことで、地域の集まりに出向いての健康講座や健康相談、家庭訪問など、積極的なアウトリーチが展開できています。引き続き、複数設置に向けた検討を行っていきます。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

方向性	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	<p>リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業では、要支援認定者等の心身の機能を引き上げる効果的なサービス提供を継続します。また、自身の状態を確認できる測定等の実施体制を構築し、測定データを活用して、元気を取り戻した高齢者がその状態を維持できるよう、身近な場所での自主的な介護予防活動を支援します。</p> <p>また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域と共に考え、効果的な方策の具体化につなげるなど、高齢者の社会参加を促進し、支える体制づくりに継続して取り組みます。</p> <p>《目標値》 第7期計画期間（平成30～32年度）の目標 ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数 185グループ（平成30年度実績：192グループ） ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ参加者のうち歩行機能が改善した人の割合 70%（事業開始時の初期値：44.2%） 平成31年度当初予算： 1,493,242千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業については、効果的なサービス提供を継続しつつ、身近な場所での自主的な介護予防活動の拡充に向け取り組みを進めてきました。

また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域の特性に応じた様々な取り組みや活動内容から、具体的な支援方法の検討を進めます。

《ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数：269グループ》

(2) 認知症施策の推進	
方向性	認知症高齢者が尊厳を持ち、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	<p>認知症サポーターの養成を継続するとともに、市内で活動している認知症カフェの交流会を開催するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、早期の支援につなげるため認知症初期集中支援チームの周知と活用を図るとともに、すべての高齢者サポートセンターに認知症地域支援推進員を継続して配置し、地域の実情に応じた相談支援を行います。</p> <p>更に成年後見制度の普及や市民後見制度の整備を進め、関係機関と連携して消費者被害や高齢者虐待等の発生の予防・早期発見から必要な支援につなげていきます。</p> <p>《目標値》</p> <p>認知症地域支援推進員の配置数 19人 (平成30年度実績：17人)</p> <p>平成31年度当初予算： 15,381千円</p>

9月末の進捗状況【O】	<p>認知症サポーター養成講座は、9月末までに18回開催しました。引き続き、養成とともに認知症地域支援推進員の増員に取り組んでいきます。</p> <p>また、消費者被害防止や成年後見制度の普及を図り、市民後見制度の整備に向けた関係機関との連携強化、権利擁護の推進に努めています。</p> <p>《認知症地域支援推進員の配置数：17人》</p>
--------------------	---

(3) 在宅医療・介護連携の推進	
方向性	高齢化の進展に伴い、医療と介護の両方の支援を必要とする高齢者の増加が予測されています。高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備を目指し、医療と介護の円滑な相互連携を図ります。
取り組み	<p>医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」や、高齢者サポートセンターを中心とした多職種連携の研修などを通して、相互理解の取り組みを進めます。また、医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援の電話相談窓口の受付時間帯を拡大するとともに、より効果的な実施方法を検討していきます。</p> <p>また、市民が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りの普及啓発を行うとともに、身寄りのないひとり暮らしの高齢者等についても、緊急時にご本人の意思が尊重されるような支援のあり方を検討します。</p> <p>《目標値》</p> <p>地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数(部会を含む) 27回 (平成30年度実績：27回)</p> <p>平成31年度当初予算： 41,913千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援相談窓口の受付を週1回から週3回へ拡充するとともに、ご本人が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りを啓発する手引きを配付しました。あわせてご本人の意思が尊重される支援ができるよう手引きを解説した専門職向けのパンフレットの作成にも取り組んでいます。また、地域課題に応じた医療・介護の専門職を対象とした研修及び市民啓発の講座等の開催に向け準備を進めています。</p> <p>《地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数（部会を含む）：8回》</p>
------------------------------	---

(4) 高齢者お出かけ推進事業の実施	
方向性	<p>高齢者が外出する機会を増やすための後押しやきっかけとなる仕組みとして実施し、人と人との交流・社会参加の促進・生きがいつくり・健康づくりに資する活動を通じた健康寿命の延伸や介護予防の推進を図ります。</p>
取り組み	<p>高齢者お出かけ推進事業では、ポイント付与対象事業に参加した市民が、高齢者お出かけ推進手帳に高齢者専用ポイント（シール）を貯めて、京阪バスポイントへの交換や市内協力店舗での買い物で使用できる「ひらかたポイント」や、楽寿荘及び総合福祉センターの使用料として使用できる「高齢者お出かけ推進チケット」に交換することができます。この仕組みにより、自主的かつ継続的な外出をしていただくことで、介護予防の推進と健康寿命の延伸につなげることを目指します。</p> <p>また、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加、ポイント交換場所の増設など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>高齢者お出かけ推進手帳配付部数 20,000部</p> <p>高齢者へのポイント付与数 9,674,000ポイント</p> <p>平成31年度当初予算：1,366千円</p>

9月末の 進捗状況 【△】	<p>平成31年4月から事業を開始し、楽寿荘の教養講座や総合福祉センターの各種講座をはじめ、介護予防イベントや健康づくりにつながる講座などのポイント付与対象事業の参加者に対し「高齢者お出かけ推進手帳」を配付し、高齢者専用ポイントまたはひらかたポイントを付与しています。</p> <p>引き続き、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p>
------------------------------	--

(5) 広域型特別養護老人ホームの増築等や地域密着型サービスの整備

方向性	介護を必要とする高齢者の増加を踏まえ、広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型サービスの整備に向けた取り組みを進めます。
取り組み	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第7期）に基づき、平成30年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスや特定施設入居者生活介護等の整備を行う事業者を公募し選定します。</p> <p>《目標値》</p> <p>第7期計画期間（平成30～32年度）の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既存広域型特別養護老人ホームの増築等 95床 ●地域密着型特別養護老人ホーム 58床（87床） ●小規模多機能型居宅介護 2か所（2か所） ●既存グループホームの増築等 36床（18床） ●特定施設入居者生活介護 70床（60床） など <p style="text-align: right;">※（ ）内は第6期（平成27～29年度）実績</p> <p>平成31年度当初予算：596,077千円</p>

9月末の進捗状況【○】	<p>平成30年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等95床分のうち、ショートステイ床からの転換15床分の整備が完了したことを確認するとともに、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認しました。また、特定施設入居者生活介護や地域密着型サービスの整備に向けて、6月に整備事業候補者の選定に関する説明会を開催し、9月に申請受付を行いました。</p> <p>引き続き、枚方市介護保険施設等整備審議会を開催するなど、整備事業候補者の選定を進めます。</p>
--------------------	--

(1) 地域福祉のさらなる推進

方向性	あらゆる世代の人が健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、民生委員・児童委員や社会福祉協議会といった関係機関等とも連携しながら、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備など、地域福祉のさらなる推進に取り組みます。
取り組み	社会福祉法に基づき策定している「枚方市地域福祉計画（第3期）」は今年度が計画期間の最終年度のため、次年度から5年間で計画期間とする第4期計画を、意識調査の結果なども踏まえながら策定します。 また、現民生委員・児童委員が本年11月30日で任期満了(任期3年)を迎えるため、一斉改選を円滑に行います。 《目標値》 民生委員・児童委員の一斉改選時における充足率：100%

9月末の
進捗状況
【〇】

「枚方市地域福祉計画（第4期）」については、本年7月に実施した市民意識調査の結果や今後行う市民意見聴取なども踏まえながら策定していきます。
民生委員・児童委員の一斉改選手続きについては、本年12月1日の委嘱に向けて、現在事務を適切に進めています。

(2) 改正生活保護法等への的確な対応

方向性	昨年6月に社会福祉法及び生活保護法が改正され、無料低額宿泊所等の事前届出制の導入など、いわゆる「貧困ビジネス」への規制の強化を図るとともに、単独での居住が困難な生活保護受給者への日常生活上の支援を委託する仕組みについて、来年度からの施行が予定されています。法改正の内容についての的確に対応し、施行時に適切に支援が行えるよう努めます。
取り組み	今年度内に、無料低額宿泊所等（社会福祉住居施設）の人員・設備・運営に関する最低基準等を条例で定める必要があり、また、来年度以降には日常生活上の支援に係る費用が必要となる場合も想定されることから、情報収集と準備等に努めます。

9月末の
進捗状況
【〇】

無料低額宿泊所の国の基準省令が令和元年（2019年）8月に公布された後、近畿ブロック生活保護担当者会議、大阪府主催の関係課会議にて条例制定の時期、独自基準の策定の有無について情報収集を行っています。
今後は条例制定に向けて取り組みを進めていきます。

(3) 枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づく障害者施策の推進

<p>方向性</p>	<p>平成30年3月に策定した枚方市障害福祉計画（第5期）・枚方市障害児福祉計画（第1期）に基づき、障害者の自立支援や社会参加に係る取組み及び、障害児へのサービス提供体制の整備など、障害者施策の推進に努めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>計画に定めた障害福祉サービスの見込み量や整備の方向について、進捗管理や状況把握に努めるとともに、成果目標として設定している「地域生活支援拠点の整備」や「障害者の就労支援策」などについて、検討していきます。また、障害児福祉計画（第1期）に基づく、医療的ケア児等の支援のための関係機関による協議の場の設置や、支援の調整を行うコーディネーターの配置を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>福祉施設から一般就労への移行者数 66名（令和2年度（2020年度））</p>

<p>9月末の進捗状況【〇】</p>	<p>計画の進捗管理や状況把握について、8月に社会福祉審議会障害福祉専門分科会を開催し、成果目標の進捗状況や障害福祉サービス等の実績についてご意見・提案をいただきながら検証・評価を行いました。</p> <p>また、「地域生活支援拠点の整備」については令和2年度（2020年度）中の整備に向けて自立支援協議会で事業形態等について協議を続けており、「障害者の就労支援策」についても、同協議会の就労支援部会で協議、検討を行い、工賃向上に向けた取組み等を行っているところです。また、1月末には障害者合同就職面接会をハローワーク等関係機関と連携し、開催予定です。</p> <p>また、医療的ケア児等の支援のための協議の場や、コーディネーターの配置については、4月より基幹相談支援センターのうち1箇所にコーディネーターの配置を行い、11月には市内に所在する保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関による連絡会議を開催予定です。</p>
---------------------------	---

(4) 指導監査業務に係る法令等の改正への適正な対応

方向性	児童福祉法施行令及び地方自治法施行令の改正等に伴い、本年4月から新たに移譲された障害児通所支援事業者の指定等の事務に対して適正に対応するとともに、サービス毎の集団指導等の実施により、福祉関連法人への情報発信に取り組みます。また、新たな制度内容を指導監督業務に反映させ、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につなげることで、福祉サービスの質の向上を図ります。
取り組み	新たに中核市の事務として位置づけられた、障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援等）の指定及び業務管理の事務について、基準を定めた条例を制定し、適切な指定・指導を行います。 介護保険サービス及び障害福祉サービスにおける新たな基準については、指導監査業務等に反映し、事業者の適切なサービス提供につなげます。 介護保険・障害福祉サービス事業の報酬改定等に的確に対応するため、国等への情報収集力を高めます。 社会福祉法人等の監理業務においては、適正な法人運営と円滑な社会福祉事業の確保を図ることを目的とし、指導監督を行います。

9月末の 進捗状況 【〇】

新たに中核市の事務となった障害児通所支援事業所の指定等に係る事務について、4月より業務を開始しており、基準条例の制定については、12月定例会に諮るため事務を進めています。

介護保険・障害福祉サービス事業者に対して集団指導等を開催し、各サービスにおける指定基準の改正や報酬改定などについて情報提供を行いました。また、基準や報酬に係る国の通知等を市ホームページに掲載して周知を図るとともに、実地指導や指定業務を通じて個別にも指導・助言を行っています。社会福祉法人等に対しては、実地監査を通じて法人運営や社会福祉事業の運営について、指導・助言を行っています。

(1) 子ども・若者への支援の充実

方向性	地域団体等と連携しながら、子ども・若者の健全育成に取り組むとともに、子どもの貧困などの課題に対応するため、福祉と教育の連携を図りながら支援を行います。また、市内で新たな生活を始める新婚夫婦の居住費用等を助成し、結婚しやすい環境づくりを推進します。
取り組み	<p>子ども・若者の健全育成に向けて、引き続き、地域の青少年育成指導員による街頭パトロール等の実施や、児童の生きる力を育むために地域団体が土曜日を基本に各小学校で体験活動等を行う「子どもいきいき広場事業」に取り組みます。子どもの貧困対策については、引き続き、福祉と教育の連携を図り、効果的な手法を検討しながら取り組みます。また、子どもたちに食事や学習、団らんの場を提供する「子ども食堂」を必要な地域で実施されるよう支援します。</p> <p>結婚に伴い、本市内で新たに生活を始める新婚夫婦への居住費用などの助成について、本市独自で補助金額の上乗せや所得要件の緩和を行い、結婚しやすい環境づくりを進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>子ども食堂の支援団体数：25 団体（H30 19 団体）</p> <p>結婚新生活支援補助金による支援件数：110 件（H30 110 件）※当初予算ベース</p> <p>平成 31 年度当初予算：93,729 千円</p>

9 月末の
進捗状況
【〇】

青少年育成指導員による街頭パトロールや青少年社会環境実態調査等を実施するとともに、「子どもいきいき広場事業」についても、枚方市内 45 校区において実施しています。

子どもの貧困対策については、教育と福祉の連携を図るため、「子どもの未来応援コーディネーター」を設置し、学校等への巡回を通じて、スクールソーシャルワーカーとも連携しながら支援を進めているところです。

また、「子ども食堂」については、補助金交付のほか、食材寄付の取次など、団体の安定的な運営の支援を行っています。

結婚新生活支援補助金については、広報やホームページだけでなく、不動産店舗へのチラシの設置依頼等により周知に努め、9 月末現在の申し込み件数は昨年度と比べ、約 1.1 倍となりました。

(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画の策定 及び 待機児童対策の推進

方向性	第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに、本計画で見込む保育需要の増加に対応できるよう、引き続き、通年での待機児童解消に向けて入所枠の拡大を図ります。
取り組み	<p>子ども・子育て支援施策を総合的かつ計画的に推進するため、現計画を引き継ぐ「第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」の策定に取り組みます。また、本計画で見込む保育需要の増加に対応できるよう、引き続き、通年での待機児童解消に向け、私立保育園の増改築、公立施設の有効活用による小規模保育の実施などあらゆる手法で定員増を図ります。また、渚保育所・渚西保育所について、令和3年度(2021年度)を目途に民営化を進め、統合と施設規模の拡充による定員増に取り組みます。</p> <p>入所枠拡大に必要な保育士の確保については、保育士等就職支援センターを活用し、潜在保育士を就職につなげるとともに、保育士の離職防止に向けた取り組みを検討します。</p> <p>《目標値》</p> <p>保育所の待機児童数：0人</p> <p>保育士等就職支援センターにおけるマッチング数：12件（H30 1件）H31.1開設</p> <p>平成31年度当初予算：815,776千円</p>

9月末の 進捗状況 【O】

第2期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり諮問を行っている「枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会」を令和元年度（2019年度）に2回開催し、審議を進めています。

また、通年での待機児童解消に向け、南部地域において私立保育所の新設を7月に行うとともに、令和2年度（2020年度）の定員増に向け私立保育所2か所の増改築を進めています。渚保育所・渚西保育所については、令和3年度（2021年度）の民営化に向け、今年度に運営法人の選定を行うため、11月の選定審査会開催に向けた準備を行いました。保育士の確保については、保育士等就職支援センターを本格稼働し、随時、相談や登録を受け付けるとともに、再就職につなげるためのセミナーや、公共施設や商業施設で出張相談会を開催し、9月末時点のマッチング件数は11件となりました。

(3) 幼児教育・保育の無償化 及び 保育サービスの充実

方向性	国が進める保育所、幼稚園などを対象とした幼児教育・保育の無償化を円滑に実施できるよう取り組みます。また、多様化する保護者のニーズに応じて教育・保育を受けられる環境づくりに向け、保育サービスの充実を図ります。
-----	---

取り組み	<p>子育て世帯の負担軽減を図ることによる少子化対策として、国が進める幼児教育・保育の無償化について、市民や事業者が混乱することのないよう十分に周知・説明し、無償化を円滑に実施できるよう取り組みます。</p> <p>また、子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」を活用した情報発信を充実させるとともに、ファミリーサポートセンターのサービスにおいても充実を図るなど、子育ての負担感軽減に向けた取り組みを充実させます。</p> <p>《目標値》</p> <p>子育て応援アプリの0歳児の新規登録件数：1,500件（H30：1,350件）</p> <p>ファミリーサポートセンター事業の無料体験クーポン発行件数：350件（H30：337件）</p>
	<p>平成31年度当初予算：855,587千円</p>

9月末の進捗状況【〇】	<p>10月からの幼児教育・保育の無償化については、市民や事業者等が混乱なく、円滑に開始できるよう、事業者向けに無償化に係る説明会を1月から9月にかけて開催するなど十分に周知を図るとともに、給食費の取扱いなど無償化の影響を受ける児童約7,000人に対して周知等を、無償化の給付を受けるために必要となる認定を対象児童約3,100人に対して行い、通知しました。</p> <p>また、子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」については、居住地や子どもの年齢に応じたイベント情報を引き続ききめ細かに情報発信をするとともに、アプリやその機能の更なる周知を図るため、アプリのミニ講座をすこやか広場・きょうぶんで開催しました。また、ファミリーサポートセンターの出張登録会を概ね月1回行い、登録会員数の増加に向けた取り組みを進めました。</p>
--------------------	---

（４） ひらかた子ども発達支援センターの開設など障害児支援の充実	
方向性	<p>ひらかた子ども発達支援センターを障害児支援の拠点と位置付け、保育所（園）等で受け入れている障害児や配慮の必要な子どもたちも含め、障害児支援の充実を図ります。</p>
取り組み	<p>平成31年4月に開設した「市立ひらかた子ども発達支援センター」では、これまでの施設から入所枠を拡大し、通所する子どもたちへの支援の充実のほか、発達上支援が必要な在宅の子どもへの地域支援事業や相談支援事業の充実を図ります。</p> <p>また、公立の保育所等への巡回相談及び私立保育所（園）等への保育相談を通して、より良い集団保育が各園で展開できるよう努めるとともに、障害児に関する研修を通して、市全体の保育の質の向上に向けた取り組みを展開します。</p> <p>あわせて、障害児の受け入れ等に関する保育環境の整備として、香里団地保育所のホームエレベーター設置に向けて取り組みます。</p>
	<p>平成31年度当初予算：505,906千円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

「市立ひらかた子ども発達支援センター」では、定員をこれまでの2施設計80人から110人に拡大し、通所する子どもたちへの発達や障害に応じた保育・療育を実施しており、地域支援事業や相談支援事業では、組織・人員体制を整え、より対象範囲を広げて取り組んでいます。

また、巡回・保育相談については保育所（園）等で障害児を含めたより良い集団保育が確保できるよう、適切な助言に努めました。あわせてセンター職員に向けて保育の質の向上に向けた障害児に関する各種研修を実施しています。

香里団地保育所のホームエレベーター設置に向けては、現在、設計を行っているところです。

(5) さまざまな困難な状況にある子ども・若者・家庭への相談支援の充実

<p>方向性</p>	<p>子ども総合相談センターにおいて、各関係機関と連携した児童虐待への早期対応、予防・防止を行うとともに、不登校、ひきこもりなど、さまざまな困難な状況にある子ども・若者や家庭への包括的なサポート体制を強化します。</p>
<p>取り組み</p>	<p>子育て家庭が安心して楽しく子育てできるように、相談をはじめ、親子支援プログラムや子育て短期支援事業などを充実させるとともに、支援が必要なひとり親家庭などに適切な制度を早期に届けられるよう、子ども家庭支援やひとり親家庭の福祉の推進を図ります。また、子どもの権利擁護のため、里親制度については、府や関係団体と連携し、広く市民に理解促進を図ることで、里親の増加促進に取り組みます。</p> <p>ひきこもり等に悩む子ども・若者とその家族を、早期に相談・支援機関につなげるため、子ども・若者支援地域協議会の連携を強化するとともに、相談員の専門性の向上に努め、本市の取り組みを広く紹介するシンポジウムの開催など、情報発信を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>以下の相談件数について、短期的には増加、中長期的には減少を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談延べ相談件数（児童虐待含む）： 29,500件（H30 27,868件） ・子ども・若者に関する延べ相談件数： 2,500件（H30 2466件） ・ひとり親家庭に関する延べ相談件数： 890件（H30 885件） <p>平成31年度当初予算：51,420千円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

親支援プログラムは7月に父親向け支援プログラム、9月と1月には7回連続講座を開催するとともに、12月にはこれまで連続講座を受講した保護者を対象にフォローアップ講座を実施します。

子ども支援プログラムは、公立幼稚園の5歳児クラスを対象に8回連続講座を10月から実施します。

保護者の疾病や仕事などにより一時的に子どもを施設で預かる子育て短期支援事業については、委託先の施設を増やすため手続きを進めており、10月から新たに3施設と契約を行うこととなりました。

1月には里親や子育てについて理解を深める市民向け講座を開催するなど、引き続き、子ども家庭支援に取り組みます。

子ども・若者支援地域協議会の実務者会議を4月、6月、8月に実施し関係機関の連携の強化を図るとともに、9月にはひきこもり等の支援にかかる講演や市内の相談・支援窓口を紹介するシンポジウムを開催し情報発信に努めました。

(1) ごみ減量の取り組み

方向性	安全で安定的なごみ処理体制を維持するため、現在、整備が進められている新ごみ処理施設の稼働に向けて、ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標を達成できるよう、取り組みを進めます。
取り組み	<p>ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標は、新ごみ処理施設における安全・安定的なごみ処理を行う条件の一つでもあることから、紙類等のごみの資源化を促進するため、令和元年度(2019年度)から自治会等による集団回収に加え、新たに古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等)の行政分別回収を実施します。また、生ごみの発生抑制のため、「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用した情報発信を行います。</p> <p>《目標値》 ごみの焼却量：94,483 t 平成31年度当初予算：1,100千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

令和元年(2019年)6月3日から古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等)の行政分別回収を実施しました。
新たに「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用したマグネットバーを3,000本作成し、情報発信を行いました。

(2) 地球温暖化対策の推進

方向性	地球温暖化防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、総合的かつ計画的に施策を推進します。
取り組み	<p>令和元年度(2019年度)は、「COOL CHOICE」の趣旨を広く市民に周知し、日常での温暖化対策の取り組みを推進することで、本市域の家庭部門から排出される温室効果ガスを削減します。また、本市の地球温暖化対策実行計画に基づいて作成した「環境ポータルサイト」で、最新の温暖化対策情報を広く発信し、多くの市民が温暖化対策に取り組めるよう周知します。</p> <p>大型太陽光発電設備の稼働による売電収入を、市の省エネルギー・省CO2対策に引き続き活用し、地球温暖化対策に関する取り組みを推進します。</p> <p>《目標値》 公共建築物における太陽光発電量：1,155kW 「COOL CHOICE」の趣旨への賛同数：2,170人 平成31年度当初予算：8,531千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	緑のカーテンモニターやクールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～等の参加者に「COOL CHOICE」の取り組みを周知し、485人から賛同を得ました。今後も引き続き、イベント等での「COOL CHOICE」の普及・啓発に取り組みます。そのほか、市ホームページの「環境ポータルサイト」を適宜更新し、最新の温暖化対策情報を広く発信しました。 また、4月～9月の大型太陽光発電設備の稼働による発電量は、431,912kWhでした。
-----------------------------	---

(3) 可燃ごみ広域処理施設の整備	
方向性	枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。
取り組み	枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価のほか、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、引き続き、京田辺市と連携しながら、取り組みを進めます。 平成31年度当初予算：107,589千円

9月末の 進捗状況 【○】	枚方京田辺環境施設組合において実施している環境調査において、京都府の絶滅危惧種であるオオタカの生息が確認されており、京都府から指示を受けた追加調査（周年調査：第2繁殖期）を終え、オオタカの生息環境の保全方法の検討に向け、その結果の分析を行っているところです。
-----------------------------	---

(4) 第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて	
方向性	第2次枚方市環境基本計画が令和2年度（2020年度）に計画期間が満了することから、次期計画の策定に向けた基礎調査や計画内容の検討に取り組みます。
取り組み	第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、市民・事業者アンケート調査を実施するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)や生物多様性地域戦略、環境教育・環境学習指針の考え方を盛り込みながら、計画内容の検討を進めます。 平成31年度当初予算：6,952千円

9月末の 進捗状況 【○】	第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、7月から8月に市民・事業者アンケート調査を、9月に市内高校生を対象としたワークショップを実施しました。今後も引き続き、計画策定に向けて取り組みを進めていきます。
-----------------------------	--

(5) 空き家・空き地対策の推進

方向性	枚方市空家等対策計画や法・条例に基づき、空き家・空き地の適正管理を促進します。また、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行います。
取り組み	土地・建物の所有者等に対して、空き家・空き地の適正管理等の情報提供等を行うとともに、協定を締結した NPO 団体等と連携し、所有者等に対し、適正管理や有効活用に関する支援を行い、空き家・空き地対策を推進します。また、本市条例に基づき、管理不良な空き家・空き地の所有者等に対する指導等を行います。 《目標値》 特定空家等に指定した空家等の改善率：100% 平成 31 年度当初予算：3,122 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

空き家・空き地の利活用や適正管理に関するチラシを固定資産税納税通知書に同封することで、土地・建物の所有者等に対して、情報提供を行いました。また、協定を締結した NPO 法人と連携し、所有者等に対し、適正管理や有効活用に関する情報提供などの支援を行うとともに、今後も引き続き適正管理や有効活用に関する支援や管理不良な空き家の所有者等に対する指導等を行います。

(1) 枚方市総合文化芸術センターの整備をはじめとする公共建築物の整備・保全

<p>方向性</p>	<p>令和2年度(2020年度)内の完成をめざして枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、公共施設の計画的な整備・保全に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">～枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～</p> 
<p>取り組み</p>	<p>本市の広域中心拠点である枚方市駅周辺の再整備の起点となる枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度から建設工事に着手しており、令和2年度(2020年度)内の完成をめざします。</p> <p>また、香里ヶ丘図書館の建設工事に着手し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的に整備を進め、令和2年度(2020年度)内のオープンをめざします。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p>
	<p>平成31年度当初予算：2,467,340千円【枚方市総合文化芸術センター整備】 1,538,891千円【公共建築物の整備・保全】</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

枚方市総合文化芸術センターの建設工事については、基礎掘削工事において地中埋設物が発見され工期を49日間延長しましたが、その後は令和2年度(2020年度)内の完成に向け、順調に工事を進めています。

また、香里ヶ丘図書館の建設工事については、令和2年度(2020年度)内のオープンをめざし、順調に工事を進めています。

市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき今年度の予定工事に順次着工するとともに、次年度の工事に向けた設計業務にも着手しています。

(2) 京阪本線連続立体交差事業と光善寺駅西地区市街地再開発事業

<p>方向性</p>	<p>令和10年度(2028年度)の完成をめざして京阪本線連続立体交差推進事業に取り組みます。あわせて、光善寺駅周辺については、今年度設立予定の光善寺駅西地区市街地再開発組合とともに新たなまちづくりを進めます。</p> <p style="text-align: right;">～光善寺駅西地区市街地再開発事業のイメージ～</p> 
------------	---

取り組み	<p>鉄道高架工事の早期着手に向け、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めるとともに、今年度においては文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を進めます。また、設立予定の組合に対して、市街地再開発事業の専門的ノウハウを有する事業協力者等と事業の進捗を図るとともに財政的・技術的支援を行います。</p>
	<p>平成 31 年度当初予算：3,617,144 千円【京阪本線連続立体交差事業経費】 158,603 千円【連続立体交差事業関連まちづくり事業経費】</p>

<p>9 月末の 進捗状況 【〇】</p>	<p>京阪本線連続立体交差事業における今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額の 60%にあたる約 2,278 m²を取得しています。また、文化財調査や地下埋設物調査等の準備作業を行っています。</p> <p>光善寺駅周辺については、再開発組合に対して大阪府による組合設立（8 月 15 日）の認可に係る技術的支援を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金を活用し市街地再開発事業補助金の交付を決定しました。</p>
-------------------------------	---

(3) 定住促進につながる住宅施策の推進（三世代家族・定住促進事業）	
方向性	<p>市外在住の子育て世帯及び若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居または近居するために住宅を取得またはリフォームすることに対して補助することで、若年世代の転入及び安心して市内定住できる環境整備を図ります。</p>
取り組み	<p>同居または近居するための住宅取得費用や同居のための持ち家のリフォーム費用に対して補助を行います。さらに、今年度中を目標に補助内容の精査や関連する他の補助制度との整合を図り、子育て世代の誘導及び定住促進につながる補助制度のあり方について、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>また、本市と包括連携協定を締結している UR 都市機構が「UR 賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」を昨年 12 月に策定されたこともあり、香里ヶ丘地域における子育て世代を呼び込む取り組みの更なる推進に向けて、引き続き関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>《目標値》 令和元年度（2019年度）目標値（平成28年度設定） 三世代家族・定住促進事業による補助件数（累計）125件 （実績）平成29年度に61件、平成30年度に 56件で計117件 （予定）令和元年度（2019年度）に50件予定</p> <p>平成 31 年度当初予算：15,000 千円【三世代家族・定住促進事業費】</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>三世代家族・定住促進事業の補助件数については、今後予定している12月補正予算要求分も含めて、今年度の目標値を達成する見込みです。また、当該補助制度の見直しに向け、関係課と協議・調整を進めています。</p> <p>香里ヶ丘地域における取り組みについては、子育て世代を呼び込む取り組みの推進に向けて、今後も引き続きUR都市機構と協議・調整を進めます。</p>
------------------------------	--

(4) 空き家・空き地対策推進事業	
方向性	空家等対策計画に基づき、情報提供や相談等の支援による空き家の有効活用の促進を図ります。
取り組み	<p>空き家・空き地の活用については、所有者と市民団体とのマッチング、所有者や利用希望者への情報提供、空き家セミナー及び相談会の開催により支援を行います。加えて、移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施している「マイホーム借上げ制度」の周知・普及を行い、高齢者の持ち家を子育て世代等への賃貸に供給することで、市内転入など定住促進を図るとともに、空き家の発生防止に向けた取り組みを進めます。</p> <p>その他、空き家に係る補助制度の新設に向け、他の補助制度との整合を図り、関係機関との協議・調整を進めます。</p> <p>《目標値》 専門家団体と連携したセミナー・相談会開催 3回（平成30年度実績2回）</p> <p>平成31年度当初予算：200千円【空き家・空き地対策推進事業費】</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>空き家については専門家団体と連携したセミナー・個別相談会を6月に実施し、11月にも開催する予定です。マイホーム借上げ制度については7月に制度説明会、8月に個別相談会を行いました。</p> <p>また、補助制度については他の補助制度を所管する関係課と協議・調整を行いながら現在検討を進めています。</p>
------------------------------	--

(5) 住宅・建築物耐震化促進事業

方向性	大地震による被害の軽減を図り、市民の生命と財産を守るため、住宅・建築物の耐震化及び危険ブロック塀等の安全対策を促進します。												
取り組み	<p>住宅・建築物については「木造住宅耐震改修補助制度」等を活用し耐震改修の促進を図ります。加えて、危険ブロック塀等については、新たに創設した「危険ブロック塀等除却補助制度」の周知啓発を行い、道路等に面する危険ブロック塀等の除却を促進します。</p> <p>また、これまでに実施した耐震化啓発の取り組み実績を検証し、計画的かつ効果的な取り組みを進めます。</p> <p>≪目標値≫</p> <table border="0"> <tr> <td>木造住宅耐震診断補助件数</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>大規模建築物等耐震診断補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修設計補助件数</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修工事補助件数</td> <td>60 件</td> </tr> <tr> <td>住宅除却工事補助件数</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>危険ブロック塀等除却補助件数</td> <td>51 件</td> </tr> </table> <p>平成 31 年度当初予算：69,718 千円【住宅・建築物耐震化促進事業経費】</p>	木造住宅耐震診断補助件数	100 件	大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件	木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件	木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件	住宅除却工事補助件数	3 件	危険ブロック塀等除却補助件数	51 件
木造住宅耐震診断補助件数	100 件												
大規模建築物等耐震診断補助件数	3 件												
木造住宅耐震改修設計補助件数	50 件												
木造住宅耐震改修工事補助件数	60 件												
住宅除却工事補助件数	3 件												
危険ブロック塀等除却補助件数	51 件												

9 月末の 進捗状況 【〇】

広報ひらかたやイベント等の機会を通じ、本市耐震補助制度の周知を行うなど、住宅・建築物の耐震化の必要性について広く啓発を図りました。加えて、危険ブロック塀の除却促進については、通学路を中心にパトロールを行い、状況に応じ個別に啓発及び補助制度の案内を行いました。

(1) 枚方市総合交通計画の推進

方向性	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」に基づいた施策の実施に取り組みます。
取り組み	枚方市総合交通計画に基づく施策を推進し、市民や各交通関係機関が参画する協議会を適宜開催し、進捗状況の確認や進め方について議論を行い、施策の進捗管理を行います。
平成31年度当初予算：500千円（総合交通計画推進事業経費）	



9月末の
進捗状況
【〇】

枚方市総合交通計画推進協議会開催に向け、市民委員の公募を行いました。また、枚方市総合交通計画に基づき、交通に関する市民意識の醸成に向けた出前講座を開催するなど、取り組みを進めています。

(2) 都市計画道路の整備

方向性	都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。また、新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線、淀川を渡る牧野高槻線等については、早期完成を大阪府や関係機関に働きかけます。
取り組み	本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境の構築や緊急時の避難経路や輸送経路の強化を図るため、第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また、通学路等の安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。 また、牧野高槻線の整備促進に向けて、周辺道路（市道）の将来交通量推計等の調査を進めます。
平成31年度当初予算：1,338,890千円（都市計画道路整備事業）、14,000千円（枚方市北部地域周辺将来交通量推計等調査事業）	

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>都市計画道路の整備については、牧野長尾線は、引き続き鉄道との交差部の架道橋新設工事及び今年度工事実施区間の整備工事を、また、長尾杉線については、用地取得及び詳細設計を進めています。御殿山小倉線については、事業用地の法面復旧工事を、また、中振交野線については、今年度工事実施区間の整備工事を進めています。</p> <p>新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線については、国及び大阪府に対し周辺環境に十分配慮した道路として着実に整備されるよう働きかけを行っています。淀川を渡る牧野高槻線等については、大阪府に対し接続する京都守口線の必要な整備及び周辺地域の安全対策を含め、早期完成に向け取り組まれるよう働きかけを行っています。また、本市では、牧野高槻線の整備促進に向けて、周辺道路（市道）の将来交通量推計等の調査を進めています。</p>
-------------------------------------	---

(3) 市内主要駅周辺の交通環境の改善	
方向性	市内主要駅（枚方市駅、御殿山駅、樟葉駅）周辺の交通混雑や公共交通の利用環境、また、安全・安心な歩行空間など、交通環境の改善に向け取り組みます。
取り組み	<p>枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、枚方市総合文化芸術センターの開館に向け、歩道拡幅やエスカレーターの設置など、交通環境の基盤整備を進めます。</p> <p>樟葉駅周辺については基本設計を完了し、引き続き駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた詳細設計を進めます。また、御殿山駅周辺については、安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議や地域と協働・連携した取り組みを継続します。</p> <p>平成 31 年度当初予算：190,000 千円（枚方市駅周辺再整備事業）、25,000 千円（樟葉駅前ロータリー渋滞解消計画策定・推進事業）</p>

<p>9月末の 進捗状況 【○】</p>	<p>枚方市駅周辺については、枚方市総合文化芸術センターの開館に向け、歩道拡幅工事やエスカレーターの設置工事を進めています。樟葉駅周辺については、駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた詳細設計を進めており、即効対策として路面標示による安全対策を検討しています。御殿山駅周辺については、速度抑制対策等、安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関や地元コミュニティとの意見交換会を開催し、地域と協働・連携した取り組みを進めています。</p>
-------------------------------------	--

(4) 安全・安心で快適な交通環境の創出	
方向性	安全・安心で快適な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や安全な歩行空間、また、自転車通行空間の創出に向け取り組みます。

取り組み	<p>通学路等の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、新たにETC2.0のビックデータを活用し、さらなる対策強化を図るとともに、津田第1号線の歩道整備や御殿山駅周辺等のバリアフリー化整備を進めます。長尾船橋線など、段差が大きい歩道については、改良に向けた検討、整備を進めるとともに、「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」に基づき、安全で快適な歩行空間及び自転車通行空間の確保に向けた整備を進めます。また、交通安全の向上を図るため、春日大峯線の交差点改良に向けた整備を進めます。</p>
	<p>平成31年度当初予算：17,000千円（津田第1号線道路拡幅整備工事）、30,000千円（交通バリアフリー道路整備事業）、6,000千円（春日大峯線道路拡幅事業）、33,000千円（自転車通行空間整備事業）、62,138千円（長尾船橋線道路空間再配分事業）</p>

9月末の進捗状況【〇】	<p>通学路については、通学路交通安全プログラム関係課会議を開催し安全対策を検討しています。信号交差点については、安全対策の検討を、また、未就学児が日常的に移動する経路については、所轄警察、施設、所管部署と連携し、安全点検を実施しました。</p>
	<p>津田第1号線については、事業用地の買収を完了し、歩道整備工事の発注に向け、取り組みを進めており、バリアフリー化整備は、宮之阪駅周辺地区の詳細設計を進めるとともに、御殿山駅前広場のバリアフリー整備工事を進めています。長尾船橋線は、昨年度に引き続き整備工事を、自転車通行空間の整備については、楠葉地区の詳細設計を進めるとともに、枚方藤阪線の整備工事の発注に向け取り組みを進めています。また、春日大峯線については、交差点改良工事の発注に向け、取り組みを進めています。</p>

（5）安全な交通社会の実現	
方向性	<p>市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させることで、安全な交通社会の実現に向け取り組みます。</p>
取り組み	<p>子どもたちの交通事故防止を図るため、引き続き、全小学校において民間活力を活用しながら交通安全教室を実施し、中学校については、交通事故を再現することでより効果が見込まれるスケアードストレート方式の自転車交通安全教室を平成30年度から3年間で全中学校において継続実施します。また、高齢者を対象とした交通安全教室を、引き続き試行実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>交通安全教室：小学校45校で実施 スケアードストレート方式の自転車交通安全教室：中学校5校で実施</p> <p>平成31年度当初予算：11,642千円（交通安全教室実施委託料）</p>

9月末の 進捗状況 【○】	交通安全教室については、小学校 45 校において、1・2 年生対象の歩行教室及び 3・4 年生対象の自転車教室をそれぞれ委託し、順次、実施しています。スケアードストレートについては、中学校 5 校及び教育委員会と調整を行い、10 月末に実施する予定です。また、高齢者交通安全教室についても順次、実施しています。
------------------------------	---

(6) 道路・公園等の効率的・効果的な維持管理	
方向性	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
取り組み	<p>道路や公園などの機能や安全性を確保するため、橋梁・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、安全な交通環境を確保するために、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯、橋梁及びトンネルについても予防・保全の観点で点検を行います。道路長寿命化計画に基づき、道路施設点検及び舗装長寿命化修繕を行い、道路施設全般において効率的・効果的で持続可能な維持管理を促進します。準用河川については、適切な維持管理に対応するため、引き続き河川台帳整理を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>リフレッシュ整備事業 3 路線 L=830m 舗装長寿命化修繕事業 L=500m 河川台帳整備延長 5 路線全延長 10,407m 公園施設の更新、改築数 12 箇所</p> <p>平成 31 年度当初予算： 10,000 千円（道路施設調査点検委託料）、9,680 千円（道路長寿命化計画策定経費）、 88,000 千円（橋梁修繕・補強事業）、165,000 千円（主要道路リフレッシュ整備事業）、 50,000 千円（公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業経費）</p>

9月末の 進捗状況 【○】	6 月に市内道路一斉パトロールを実施するとともに、道路施設調査点検委託及び道路長寿命化計画策定委託を発注しました。また、主要道路リフレッシュ整備事業等においては、L=760mの工事は既に完了し、順次整備工事を進めています。公園施設長寿命化計画に基づく事業については、委託業務を進めると共に更新工事を進めています。
------------------------------	--

(7) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

目標	<p>日常生活の中で自然とふれあい、親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整備を進めます。また、みどりの基本計画や第2次里山保全基本計画に基づき、多くのみどりを育み、人々がみどりとふれあうことのできるまちづくりを進めます。</p>
取り組み	<p>星ヶ丘公園については、引き続き自然環境を生かした開設エリアの拡大に向けて整備を進めるとともに香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘地域の活性化につなげることを目的に、図書館の建て替えと合わせた一体的な公園整備を進めます。また、王仁公園については、屋外プールの存廃を含めた公園施設全体を包括的にマネジメントする視点に立ち、官民連携の手法と実現可能性の検討を行います。</p> <p>里山保全については、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動への支援や森林スペシャリスト育成講座などにより、里山の保全・活用を促進します。緑化推進については、まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用の促進を効率的、効果的に推進できるよう多様な主体が連携し、自らのため楽しみながら活動する基盤となる「みどりのプラットホーム」づくりを進めます。併せて、花と緑のまちづくり基金の効果的な活用方法を検討します。また、UR から移管を受けた桑ヶ谷公園に隣接する緑地において、子どもたちの冒険遊び場である「プレーパーク」を市民団体と協働して本格運営を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>公園整備面積：3,600 m²（平成30年度からの継続目標）</p> <p>里山保全活動団体の活動延べ日数：250日</p> <p>みどりのプラットホームのメンバーが実施する催し回数：6回</p> <p>プレーパークの実施回数：12回</p>
	<p>平成31年度当初予算：154,692千円（主要な公園整備（繰越含む）、2,467千円（里山保全）、2,000千円（みどりのプラットホーム設置・運営事業）</p>

9月末の 進捗状況 【O】

星ヶ丘公園は整備が完了しました。香里ヶ丘中央公園の整備については、図書館隣接のみどりの広場や外周園路改修工事を進めています。森林スペシャリスト育成講座は、全11回のうち6回実施しました。みどりのプラットホームづくりについては、来年度からの自立運営に向け活動を行っており、催し2回と先進事例視察1回を実施しました。また、桑ヶ谷の緑地において、子どもたちの冒険遊び場である「プレーパーク」を本市が市民団体と協働して運営をしており、9月末までに6回実施しました。

令和元年度
(2019年度)

会計管理者

重点施策・事業の進捗状況

(1) 公金の適正な管理

方向性	公金の収入・支出が適正に執行されるよう、法令等に基づき厳正な審査を行うと同時に、各課会計担当者の会計実務能力の向上を図ることにより、不適切な会計処理を防止し、公金の適正な管理を行います。
取り組み	各課会計担当者に対し会計実務研修を行い、会計事務に対する認識を高めるとともに、さまざまな機会を捉え会計事務に必要な情報の提供を行うことで、会計実務能力の向上を図ります。 《目標値》 会計実務研修受講者数：81人 ※平成30年度実績 81人

9月末の
進捗状況
【○】

各課会計担当者に対し、書類の受け渡しなどの機会を捉え、情報提供や指導を行い、会計実務能力の向上を図っています。また、令和2年(2020年)2月に、会計実務研修の実施を予定しています。

(2) 指定金融機関等における適正な公金取扱事務の確保

方向性	指定金融機関及び収納代理金融機関に対して、公金の収納・支払い等の事務が適正に処理されているか検査を実施します。
取り組み	収納代理金融機関収支報告書と枚方市公金受入口の別段預金元帳の現金残高数値の確認や、その他関係書類の整備・保管及び検査当日の収納取扱いにおいて、枚方市指定金融機関等事務取扱要綱に基づく適正な事務処理がなされているか検査を実施します。また、その結果に応じて、必要な措置を講ずるよう求めます。

9月末の
進捗状況
【○】

指定金融機関(りそな銀行)及び収納代理金融機関7行に対し、令和元年(2019年)10月から11月にかけて、枚方市指定金融機関等事務取扱要綱に基づいた適正な事務処理がなされているか検査を実施するための準備を進めています。

(1) 水道料金制度の改正に向けた取り組み

方向性	水需要については、人口減少による有収水量の減少に加え、近年、大口需要者の地下水汲み上げや節水機器の普及による一世帯当たりの使用水量の減少など、一層の収益の低下が見込まれます。将来にわたって、水道施設を適切に維持・更新し、健全な経営のもとで持続可能な水道をめざしていくため、令和2年度(2020年度)の新たな水道料金制度の導入に向けた取り組みを進めます。
取り組み	新たな水道料金制度の導入に向けて、令和元年度(2019年度)においては、「適正な原価に基づく料金算定」・「水需要に応じた料金制度」・「公平性の確保」を基本とした基本水量の廃止、口径別料金の導入、逡増度の緩和を行う料金制度案を構築し、令和2年(2020年)3月定例会議会への条例改正案の提出をめざします。
	平成31年度当初予算：269千円

9月末の
進捗状況
【〇】

学識経験者や市民などで構成する上下水道事業経営審議会の答申を踏まえ、水道料金制度の見直しについて、料金シミュレーションによる口径別の基本料金及び従量料金の単価設定を含めて素案として検討しています。10月開催の同審議会へは、見直しの基本的な考え方等について案件提出します。

(2) 水洗化の促進

方向性	下水道未接続家屋の所有者に対し、より一層の水洗化促進の働きかけを行い、更なる水洗化率の向上をめざします。
取り組み	公共下水道の供用開始後3年以内の区域の家屋所有者に対して、水洗化工事の手続き、補助・融資制度などをわかりやすく説明した啓発文書により、引き続き水洗化の促進を図ります。また、平成29年度末時点で水洗化義務期限である3年を経過した下水道未接続家屋約4,200戸の所有者に対して、昨年度(平成30年度)から5か年で計画的に戸別訪問を行い、指導、勧告や融資制度の説明を行うなど、水洗化促進に向けた積極的な働きかけを行っており、本年度も引き続き水洗化率の向上に向けて取り組みを進めます。
	<p>《目標値》</p> <p>下水道未接続家屋の所有者に対する指導：概ね900戸(令和4年度(2022年度)末まで各年)</p> <p>(参考：平成30年度実績 実態調査607戸のうち、下水道接続済み33戸、水洗化工事の実施46戸)</p>
	平成31年度当初予算：5,445千円(内訳：改造補助金5,200千円、印刷費245千円)

9月末の 進捗状況 【○】	<p>水洗化義務期限の到来日の1年前の未水洗家屋の所有者に対して、水洗化工事を促進するため、手続きをわかりやすく示した啓発文書の郵送を行いました。また、水洗化義務期限（3年）を超えた下水道未接続家屋については、今年度は約1,080戸（目標900戸）に対して、戸別訪問及び実態調査を行い、未接続家屋に対して指導、勧告など水洗化促進に向け、積極的に働きかけを行いました。その結果、9月末現在で15戸の家屋において水洗化工事が実施されました。今後、未接続家屋に対しては、本年度内に更に2回、勧告文書を郵送し、水洗化の促進に向け取り組んでいきます。</p>
------------------------------	--

(3) 下水道管路の適切な維持管理と計画的な更新に向けた点検・調査	
方向性	<p>これまでの建設の時代から維持管理の時代が変わる中、国の補助事業である下水道ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を実施し、ライフサイクルコストの低減、平準化をめざします。</p>
取り組み	<p>下水道管路の適切な維持管理と更新を計画的、効率的に進めていくため、リスク評価の高順位箇所から順次、目視による点検・管内カメラによる調査を実施します。令和元年度（2019年度）は楠葉・香里地区において面的に点検するとともに、不具合が発見されやすい30年以上経過した管径600mm以上の污水管から調査を行い、令和5年度（2023年度）までの短期計画として実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>令和元年度（2019年度）</p> <p>下水道管路施設の点検（雨水管・污水管） 約75km</p> <p>下水道管路施設の調査（調査は污水管から実施） 約2km</p> <p>平成31年度当初予算：28,000千円（内訳：点検委託費21,000千円、調査委託費7,000千円）</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>前年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を行うため、下水道管路施設の点検委託（雨水管・污水管）を約18km、調査委託（污水管）を約2km実施しています。</p>
------------------------------	---

(4) 水道料金及び下水道使用料等の徴収率の向上

方向性	水道料金及び下水道使用料等の支払いについて、枚方市債権管理及び回収に関する条例等を踏まえ、適正かつ効率的に債権管理・回収を行い、徴収率の向上をめざします。また、新たにスマホ決済を導入し、市民等の利便性の向上を図ることで、期限内納付を促進します。
取り組み	<p>本年4月からの枚方市債権管理及び回収に関する条例の全部施行に伴い、水道料金については遅延損害金、下水道使用料については延滞金の加算を開始することから期限内納付の促進に向け、周知を図ります。また、滞納者への催告、給水停止予告及び滞納処分の事前通知等を効果的に行い、徴収率の向上をめざします。あわせて、支払い不誠実者に対しては強制執行等にも取り組みます。</p> <p>さらに、上下水道料金システムの再構築（10月稼働）にあわせ、新たにスマートフォン等を利用したキャッシュレス決済（スマホ決済）を導入し、市民等の利便性の向上を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>水道料金・下水道使用料 現年度分徴収率（翌年5月末現在）：平成29年度実績超（参考：平成29年度分徴収率 水道料金 99.28%・下水道使用料 99.29%）</p> <p>平成31年度当初予算：105,804千円（システム再構築経費）</p>

<p>9月末の進捗状況</p> <p>【〇】</p>	<p>遅延損害金及び延滞金の加算について、納付書及び督促状等で周知し、期限内納付の促進に努めています。</p> <p>また、滞納者への催告については、給水停止予告等の訪問徴収にあわせて滞納処分に関する事前通知（約3,300件）を行い、支払い不誠実者に対しては、弁護士名を記載した催告書の発送に向けた準備を進めました。</p> <p>スマホ決済「PayB（ペイビー）」については、上下水道料金システムの再構築にあわせ、令和元年（2019年）10月1日に導入します。</p>
--	---

(5) 水道法改正に伴う取り組み

方向性	令和元年（2019年）10月1日施行の水道法の一部を改正する法律に基づき、適切な資産管理の推進を図るため、水道施設台帳を整備するとともに、指定給水装置工事事業者制度の改善に向け、当該工事事業者の指定に更新制を導入します。
取り組み	<p>水道施設台帳については、上下水道施設情報管理システムの再構築にあわせ、同システムと連携し、令和4年（2022年）9月の法適用に向けて整備していきます。また、指定給水装置工事事業者の指定への更新制の導入について、令和元年度（2019年度）は、更新制の導入に係る条例等の改正や指定給水装置工事事業者への制度の周知など、令和2年度（2020年度）からの更新手続きに向けた準備を行います。</p> <p>平成31年度当初予算：100千円（指定給水装置工事事業者への制度周知の通信費）</p>

**9 月末の
進捗状況
【〇】**

水道施設台帳に連携する再構築の上下水道施設情報管理システム稼働に向け、旧システム内管路等のデータ移行を進めています。今後、令和 2 年（2020 年）1 月 6 日の本格稼働とともに令和 4 年（2022 年）9 月の法適用に向け、その他の施設台帳についても整備していきます。また、指定給水装置工事事業者の指定への更新制の導入について、令和元年（2019 年）9 月定例会議会へ条例改正案を提出しました。今後、指定給水装置工事事業者への制度の周知など、令和 2 年度（2020 年度）からの更新手続きに向けた準備を進めます。

令和元年度
(2019年度)

上下水道事業部

重点施策・事業の進捗状況

(1) 中宮浄水場更新事業

方向性	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を令和7年度(2025年度)から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	DBO方式による事業者選定に向けて、総合評価一般競争入札に必要な要求水準書などの資料作成に取り組みます。 平成31年度当初予算：1億3975万円

9月末の
進捗状況
【○】

総合評価一般競争入札による事業者選定に向けて、要求水準書案などの資料作成及び事業者の選定を適切に行うための事業者選定審査会の設置を進めています。

(2) 水道施設等の更新・耐震化事業

方向性	水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。
取り組み	平成30年度に策定した枚方市水道施設整備基本計画に基づき、水道施設については、鷹塚山配水場更新工事、津田低区配水場3号池整備工事に引き続き取り組みます。また、水道管路については、更新及び耐震化事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替えを行います。 《目標値》 耐震性能を有する水道管路の割合 24.2% (参考平成29年度 23.9%) 平成31年度当初予算：35億330万円

＜津田低区配水場
3号池イメージ図＞



9月末の
進捗状況
【○】

鷹塚山配水場更新工事については、3配水池のうち2号配水池が完成し、給水を開始しました。引き続き3号配水池の築造に取り組んでいます。津田低区配水場3号池整備工事については、配水池整備に必要な送配水管の移設に取り組んでいます。また、水道管路の更新、耐震化、鉛管改良事業に係る工事を令和元年度(2019年度)の計画に基づき発注しました。

(3) 公共下水道汚水整備事業

方向性	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。また、工場等事業所系の汚水整備については、事業者の整備意向等を踏まえながら、効率的・効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。また、工場等事業所系の汚水整備については、枚方東部企業団地の整備に向けて実施設計に着手します。 《目標値》 整備人口普及率 97.1% (参考：平成 29 年度 96.6%) 平成 31 年度当初予算：9 億 9641 万円

9 月末の 進捗状況 【○】

住宅系地域及び整備困難地域における汚水整備工事を発注しました。また、工場等事業所系の汚水整備については、枚方東部企業団地の整備に向けた実施設計を発注しました。

(4) 下水道施設の老朽化対策について

方向性	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築・更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成 28 年度に策定した汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の下水道長寿命化計画に基づき、昨年度に引き続いて改築工事に取り組みます。また、平成 30 年度に策定した枚方市下水道ストックマネジメント計画に基づき、北部ポンプ場等の受変電設備改修工事実施設計委託を行います。 平成 31 年度当初予算：4 億 2920 万円

9 月末の 進捗状況 【○】

汚水管渠の長寿命化対策を目的とした工事を発注しました。また、ポンプ場遠方監視設備工事や北部ポンプ場等の受変電設備改修工事実施設計委託については、令和元年度（2019 年度）内の完成に向けて進めています。

(5) 浸水対策について

<p>方向性</p>	<p>近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、楠葉排水区において雨水貯留施設の整備を進めるとともに、下水道事業計画に基づき雨水管渠や雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減に取り組みます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>楠葉排水区については令和2年度（2020年度）の工事完了をめざし、雨水貯留施設の整備を進めます。また、新安居川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や雨水管渠等の整備を進めます。</p> <p style="text-align: center;"> <シールドマシン（楠葉雨水貯留管）> <新安居川ポンプ場の施工状況> </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">平成31年度当初予算：29億8445万6千円</p>

<p>9月末の 進捗状況 【〇】</p>	<p>楠葉排水区では雨水貯留施設について、新安居川ポンプ場ではポンプ場施設について工事を進めています。また、その他の地区においても浸水対策として雨水管渠等の工事を進めています。</p>
-------------------------------------	--

(1) 健全な病院経営	
目標	<p>病院経営の健全化を図るためには、収益の拡大や経費の抑制による経営の効率化が必要不可欠であることから、これまでの取り組みの更なる強化を図りつつ、様々な視点から検証・検討を加えて新たな策を講じるなど、持続可能な経営基盤を構築するための取り組みを進めます。</p>
取り組み	<p>1. 消化器センターの立ち上げ</p> <p>本院に、消化器内科と消化器外科を統合した『消化器センター』を新たに設置し、内科医・外科医が1つのチームとして専門性の高い医療を、他の医療スタッフとの緊密な連携のもとに行うことで、がんを始めとした消化器疾患全般に対し、幅広く包括的に対応します。</p> <p>これにより、一人ひとりの症状に最も適した質の高い医療を提供することとなるほか、患者の皆さんにとって受診時の負担軽減が図られ、また地域の医療機関からの紹介や救急患者の受入れも、より迅速な対応が可能となります。</p> <p>この消化器センターを本院における診療の柱として、様々な媒体を利用して積極的にPRすることにより、救急患者の受入や手術件数を増加させ、収益の改善にも繋がります。</p> <p>2. 外部コンサルタントの活用</p> <p>病院経営に関して豊富な知識や経験を持つ外部コンサルタントを活用し、院内に設置する「緊急経営改善チーム」との連携のもと、院内の各部署に対し、個別具体的な目標を設定した上で、その達成に向けた実効性のある取り組みを進めます。</p> <p>3. 地域連携の更なる推進</p> <p>本院が地域の中核となる急性期病院としての責務を果たすため、引き続き、地域の診療所への訪問を計画的かつ積極的に行い信頼関係を築くことで、紹介患者の増加に努めつつ、引き続き「地域医療支援病院」の承認を見据え、紹介率及び逆紹介率の向上について職員の意識徹底を図るなど、地域の医療機関との業務連携の更なる強化に取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>紹介率 : 65%以上 逆紹介率 : 70%以上</p>

4. 医師の確保による収益力の向上

収益向上には診療体制の充実が必要不可欠であることを踏まえ、今後も引き続き、医師について、効果的な収益構造を構築するための適材な配置を検討しつつ、積極的な確保に努めます。

5. 医療機器等の更新計画の新たな策定

将来にわたり、安定的な運用に資するため、新病院建設時に購入した医療機器に加え、これまで新たな医療サービスを行うにあたり購入した医療機器などの更新年度を見据えた年次的な「更新・保全計画」を新たに策定します。

6. 医療情報システムの更新

導入後7年が経過する電子カルテシステムを更新します。更新にあたっては、医師等の職員によるインシデントの発生リスクを抑えるとともに、効率的な医療事務を充実させるシステムを構築します。

**9 月末の
進捗状況
【〇】**

1. 消化器センターの立ち上げ

がんを始めとした消化器疾患全般に対し、幅広く包括的に対応できるよう平成 31 年 4 月より、新たに「消化器センター」を設置しました。

消化器センターを、本院の診療体制の柱として充実させ、持続的な経営努力を重ねることで、地域に根ざした市民から信頼される病院であり続けるよう努めていきます。

2. 外部コンサルタントの活用

院内に設置する「緊急経営改善チーム」との連携のもと、院内の各部署で目標を設定し、その目標の達成に向け、それぞれの部署とディスカッションを実施するなど具体的な取り組みを進めています。

3. 地域連携の更なる推進

地域の医療機関との信頼関係の強化が重要と考えていることから、地域の医療機関への訪問を市内だけでなく隣接する市まで範囲を拡大し、顔の見える関係の構築に向け、取り組んでいるところです。

4. 医師の確保による収益力の向上

効果的な収益構造の構築には、医師のさらなる増員が必要であるため、大阪医大に対して積極的に要望するなど、今後も引き続き、必要数の医師の確保に努めていきます。

5. 医療機器等の更新計画の新たな策定

新病院開院時に整備した医療機器等の更新について、年次的に更新を行うため、担当部署と調整し「更新・保全計画」の策定作業を行っているところです。

6. 医療情報システムの更新

9 月 20 日から 21 日にかけて、電子カルテシステムの更新作業を行いました。更新にあたっては、事前に医師等の職員への説明会等を実施し、インシデントの発生リスクを抑えるよう努めました。

(1) 学校園の安全対策

方向性	学校園の安全対策について、これまでの取り組みを継続するとともに、効果的・効率的な手法の検討を進めます。
取り組み	<p>カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用や、保護者・地域住民の協力による立哨により校門での安全監視を行っていますが、今後は効果的・効率的な手法を検討しながら児童の安全確保を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>児童在校中の小学校への不審者の侵入件数：0件 (前年度実績：0件)</p> <p>平成31年度当初予算：32,424千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等機器の修繕等を必要に応じて行っています。

今後、老朽化した監視カメラの更新も視野に入れながら、適正な維持管理に努めるとともに、来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、引き続き子どもの安全を確保する環境を維持していきます。

(2) 小・中学校における ICT 機器等の整備

方向性	ICTの活用による新しい学校教育の確立をめざすため、児童・生徒及び教員1人1台のタブレット型コンピュータ配備をはじめとしたICTの環境整備を進めます。
取り組み	<p>小・中学校におけるICT整備については、第四中学校で実施する「未来学習研究事業」等で検証しながら、本年度中に「(仮称)枚方市学校教育情報化推進計画」を策定します。既に整備済みのICTも活用して中学校から段階的に国基準(3学級に1学級分)以上の整備促進を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>児童・生徒の一人あたりの教育用パソコンの台数：5.6人に1台 (前年度実績：8.3人に1台)</p> <p>平成31年度当初予算：164,264千円</p>

9 月末の 進捗状況 【○】	<p>第四中学校では、生徒及び教員に 1 人 1 台タブレット PC を整備し、授業の必要となる場面でツールの 1 つとして、調べ学習やグループ学習等の場面で活用しているほか、授業以外等でも文化祭の取り組みや体育祭の取り組みなどで生徒が積極的に ICT の活用できること、中核となる教員がタブレットを活用して指導する力を身につけることで、同じ学年や教科の他の教員にも ICT を活用する力が身につけていくことが確かめられました。また、楠葉西中学校ではモバイルネットワーク（LTE）を活用し、「いつでもどこでも」つながる環境を授業で導入することで、動画などの教材コンテンツが活用できるようになったことや、今までネットワークが届いていなかったグラウンドなどでも効果的に ICT を活用できることが確かめられました。今後、これらの検証を生かし、実態に即した計画の策定に向け検証を続けています。</p>
-------------------------------	---

(3) 公立幼稚園における 3 歳児保育と子育て支援策の充実	
方向性	平成30年11月に策定した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」に基づき、公立幼稚園では、3歳児保育を実施するとともに長時間の預かり保育など子育て支援策の充実を図ります。
取り組み	<p>少子化が進む一方で、依然として保育需要が増加傾向にある中で、公立幼稚園では、3歳児保育、長時間の預かり保育と1・2歳児の小規模保育を組み合わせた「枚方版子ども園」など子育て支援に取り組むとともに、令和元年（2019年）10月から実施予定の幼児教育無償化への対応を行います。また、蹉跎西幼稚園については、令和2年度（2020年度）末に閉園とし、生み出された財源については、保育需要等の動向を踏まえながら子育て施策の充実に活用していきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における3歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：80%以上 ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：80%以上

9 月末の 進捗状況 【◎】	<p>公立幼稚園 6 園において、令和元年 4 月より、3 歳児保育と時間を拡充した預かり保育を実施しています。幼児教育無償化に向けて預かり保育の使用料の取り扱いを整理し保護者へ周知を行ったのをはじめ、来年度の園児募集の準備に取り組みました。</p> <p>今後は、預かり保育の保護者アンケートを実施し、保護者の満足度の把握に努めるとともに、令和 2 年度（2020 年度）末に閉園する蹉跎西幼稚園の活用方法の検討に取り組みます。</p>
-------------------------------	---

(4) 枚方市学校施設整備計画の実施・計画の策定

<p>方向性</p>	<p>「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（前期）平成27～平成32年度）」に基づき「枚方市市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」等と整合を図りながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。</p> <p>令和3年度（2021年度）から実施予定の「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）令和3（2021）～8（2026）年度）」については、市有建築物保全計画及びトイレ改善事業をより効率的に実施するために、一元化した計画を策定します。</p>
<p>取り組み</p>	<p>設計業務：第1期実施計画（前期）分について完了</p> <p>仮設校舎建設：津田中</p> <p>請負工事：香里小（平成30年度～令和2年度（2020年度）） 第一中（平成30年度～令和元年度（2019年度）） 津田中（平成31年度～令和2年度（2020年度））</p> <p>「枚方市学校施設整備計画（第1期実施計画（後期）令和3（2021）～8（2026）年度）」の策定</p> <p>《目標値》</p> <p>今年度の計画達成割合：66.9%（前年度実績割合25%）</p> <p>平成31年度当初予算：1,854,169千円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

津田中学校の仮設校舎建設については今年度6月にリース契約を締結し、現在建設準備を進めています。また、学校施設整備計画に基づく工事については、香里小・第一中・津田中の3校において、工事を進めています。

計画の策定については、9月の文教委員協議会において計画の基本的な方針を示しました。今後、今年度末の策定に向けて取り組んでいきます。

(5) 学校トイレ改善事業

<p>方向性</p>	<p>児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置等、「枚方市学校施設整備計画」や「枚方市市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。</p> <p>また、改修工事等の「ハード面」において、快適になったトイレを継続して維持する為に、「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めます。</p>
-------------------	--

取り組み	令和元年度（2019年度）事業 ○管理棟：小学校6校（田口山小、西牧野小、川越小、蹉跎東小、蹉跎西小、桜丘北小） 中学校2校（東香里中、楠葉西中） ○教室棟：小学校1校（津田南小） ≪目標値≫ 各棟1系列のトイレ改造工事を行います。
	平成31年度当初予算：400,000千円

9月末の進捗状況【○】	管理棟の内、田口山小、蹉跎東小及び、蹉跎西小については9月末に完成しました。その他の西牧野小、川越小、桜丘北小及び東香里中は10月中に完成の予定です。また、楠葉西中は入札不調のため、来年度に実施の予定です。教室棟の津田南小は10月中に完成の予定です。
-------------	---

（6）学校規模等適正化推進事業	
方向性	教育環境向上のため、将来の児童・生徒数を見据え、「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、学校規模の適正化に向けて具体的な取り組みを進めます。
取り組み	高陵小学校と中宮北小学校の学校統合について、保護者や地域等の理解と協力を得ながら、「枚方市学校規模等適正化実施プラン」の作成を進めます。また、その他の学校におきましても、学校規模の適正化に向けての取り組みを進めます。

9月末の進捗状況【△】	学校規模等適正化の取り組みに対して理解と協力が得られるよう、学校や保護者、地域代表者等と協議検討を行ってきました。 引き続き、学校、保護者、地域代表者等と協議検討を重ね、適正化の具体的な方策を定めた「枚方市学校規模等適正化実施プラン」の作成に取り組んでいきます。
-------------	--

（7）学校運営に係る事業の再構築	
方向性	学校運営に係るすべての業務を総合的に捉え、より円滑で効果的な取り組みとなるよう民間活力の活用も含め、その方向性について検討を進め、学びの環境の充実を図ります。
取り組み	学校施設の環境整備（校務業務）、留守家庭児童会室運営業務や学校給食単独調理場運営業務など学校運営に係るすべての業務について、対象となる業務の選択や精査を行いながら、その方向性について検討を行います。 ≪目標値≫ 令和元年（2019年）9月 学校運営に係る基本的な考え方（方針）を作成 令和2年（2020年）3月 上記方針に基づく計画を策定

9月末の 進捗状況 【○】	<p>学校運営に係る業務について、包括業務委託が可能な業務について当該所管課と検討を進め、9月の文教委員協議会において学校園運営に係る取り組みの今後の方向性について考え方を示しました。今後、考え方に基づいた計画の策定を進めます。</p>
------------------------------	--

(8) 学校給食の充実	
方向性	<p>「おいしさ・品質日本一」を目標に掲げ、子どもたちが「枚方の給食を食べたい」と思うおいしい給食の提供をめざします。</p> <p>中学校給食について、全員喫食の実現に向けて取り組みを進めます。また、小学校給食について、老朽化が進む小学校給食調理場について、効率的・効果的な整備を図ります。</p>
取り組み	<p>中学校給食について、更なる喫食率向上を図るため、魅力向上、利便性の向上、情報発信を3本柱に、各学校や保護者と連携した取り組みを進めます。全員喫食の実現に向けては、より詳細な事業費の算定及び精査を進め、財源確保という課題もあることから教育施策の優先順位も考慮しながら、計画策定に向けて取り組みを進めます。</p> <p>また、学校給食を安定的に提供できるよう、第三学校給食共同調理場の老朽化対策や香里小学校単独調理場の長寿命化改修に引き続き取り組むとともに、老朽化の進む単独調理場の対策について検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>中学校給食の喫食率：50.0%（前年度平均喫食率 32.7%）</p> <p>平成31年度当初予算：1,006,792千円</p>

9月末の 進捗状況 【△】	<p>選択制での中学校給食の喫食率については、各中学校やPTAと連携した取り組みや「第2回枚方市学校給食コンテスト」、「中学校給食チャレンジデー」の実施等、目標喫食率確保に向けた取り組みを進めています。喫食率は、平成28年度25.7%から令和元年度9月現在で34.3%に向上しています。</p> <p>一方で、市長公約である全員喫食の実現に向け、実施手法の精査及び事業費の算定を行うなど計画策定を進めています</p> <p>第三学校給食共同調理場老朽化対策事業の対象の6カ所の単独調理場の改築・長寿命化改修及び香里小学校単独調理場の長寿命化改修については、香里小学校が校舎本体工事の遅れにより着工が遅れる見込みですが、蹉跎西小学校・藤阪小学校の給食調理場が着工し、工事を進めています。また、春日小学校の給食調理場の工事は完成に向けて進捗しています。桜丘北学校給食共同調理場については、令和元年8月1日付けで開設しました。</p>
------------------------------	--

(1) 学力向上の取り組みの推進

方向性	「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりと個に応じた家庭学習を推進し、子どもたちの確かな学びと自立の力を育みます。
取り組み	<p>【学力の向上】 児童・生徒一人ひとりの知識や技能の習得及び思考力・判断力・表現力の育成に向けて、全中学校区へコーディネーターを配置し学力向上委員会、教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者の招聘による教員の授業力向上を図ります。また、ICT機器を効果的に活用し、より高い学習効果につながる授業改革を進めるとともに、少人数学級編制や習熟度別少人数指導等により、きめ細かな指導の充実を図ります。さらに、授業・課業時間外・家庭学習において、パソコンやタブレットによる学習コンテンツを効果的に活用することで、新学習指導要領で求められている言語能力や情報活用能力の育成を図ります。</p> <p>【学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化・公表】 全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体としての課題や個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図ります。 また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努めます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の平均正答率：全国平均以上 ・児童・生徒質問紙調査「算数・数学の授業がわかる」に対して肯定的回答をした児童・生徒の割合：対前年度2ポイント向上（各校種） <p>平成31年度当初予算：44,629千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、授業改善や少人数指導などの取り組みや、学識経験者による講義や指導助言により授業力向上を図っています。
 また、児童・生徒の理解度に応じて学習できる学習コンテンツを導入し、児童・生徒の家庭学習等の充実を図っています。
 全国学力・学習状況調査については、問題分析、自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、授業研究において活用しています。

(2) 英語教育の推進

方向性	新学習指導要領の全面実施を見据え、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。
取り組み	<p>【英語教育指導助手の配置】 全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英会話や英語を使った体験的な学習の充実を図ります。</p> <p>【指導体制の強化】 新たに、小学校外国語活動の特別免許を所有する教員を配置するとともに、小学校英語専科教員及び日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充するなど、小学校外国語活動の指導体制の強化を図ります。</p> <p>【外部検定試験の活用】 英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活かします。</p> <p>【大学との連携】 関西外国語大学と連携し、「枚方英語村」を実施するなど、児童・生徒が留学生と交流し、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育みます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語の授業が楽しい」と答えた児童・生徒の割合：90.0%（平成30年度86.9%） ・大阪府中学生チャレンジテスト（第2学年の平均正答率）：対前年度比向上 ・外部検定試験結果を活用して、国際基準CEFR Level A1に中学校卒業段階で到達した生徒の割合：50.0%（第2期教育振興基本計画における成果指標を踏まえた英語力の目標値）以上 <p>平成31年度当初予算：155,924千円</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施しています。また、小学校に市独自で英語専科教員を昨年度に引き続き4名を配置するなど、小学校外国語活動の指導体制の充実を図っています。今後、全市立中学校第2学年の全生徒を対象にした英語外部検定試験や、関西外国語大学と連携した「枚方英語村」を実施します。

(3) 読書活動の推進

方向性	児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図ります。
取り組み	<p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進します。</p> <p>また、社会教育部と連携して、全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施します。</p>

	<p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の読書量（1日10分以上の児童・生徒の割合）：対前年度5ポイント向上（平成30年度枚方市立小学校59.9%・中学校47.3% 全国小学校66.2%・中学校53.5%） ・「ビブリオバトル」参加校数・生徒数：19校×3名（平成30年度17校48名） <p>平成31年度当初予算：58,506千円</p>
--	--

<p>9月末の進捗状況 【○】</p>	<p>全中学校区に学校司書を配置し、児童・生徒の読書習慣の確立や調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進しています。</p> <p>また、令和2年3月に、中央図書館と連携して「中学生のビブリオバトル」を実施します。</p>
--------------------------------	--

<p>（４）体力向上の取り組みの推進</p>	
<p>方向性</p>	<p>児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを計画的に推進します。</p> <p>また、中学校部活動について生徒の心身のバランスが取れた成長を促す観点から活性化と充実を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>【体力の向上】</p> <p>各学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進します。</p> <p>また、小学生対象の陸上競技大会、駅伝競走大会、水泳記録会等を通じて児童の体力向上を図ります。</p> <p>【中学校部活動】</p> <p>専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、指導の充実を図ります。</p> <p>また、「国のガイドライン」を踏まえて策定した「枚方市中学校部活動方針」に即して、適切な練習時間や休養日を設定するなど、生徒にとって望ましい環境を構築し、地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に部活動を実施します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの各種目の結果の平均値：全国平均（推定値）以上 ・「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童・生徒の割合：90.0%（平成30年度85.7%） <p>平成31年度当初予算：22,115千円</p>

<p>9月末の進捗状況 【○】</p>	<p>全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成し、実践するとともに、大阪体育大学との連携による指導・助言等を受け、体育科の授業改善に努めています。</p> <p>中学校部活動については、部活動指導協力者を派遣するとともに、枚方市中学校部活動方針に即して、適切な練習時間や休養日を設定することで生徒の健康管理に努めています。</p>
--------------------------------	---

(5) 生徒指導の充実

方向性	学校・家庭・地域・関係機関が連携し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努め、いじめ・暴力行為・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を行います。
取り組み	<p>平成30年9月に改定した「枚方市いじめ防止基本方針」に基づき、「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」とともに、実用性のあるいじめ対処のためのマニュアルを活用し、いじめの未然防止、早期解決に努めます。</p> <p>また、学校に学識経験者、心理・福祉の専門家等で構成する「緊急支援チーム」を派遣する等、いじめを受けた児童・生徒やその保護者に寄り添い、適切な対応に努めます。</p> <p>各学校においては、生徒指導主事・主担者を核とした組織的な対応を行うとともに、家庭訪問等を通じて保護者との信頼関係の構築、学校アセスメントシートを活用した客観的な状況把握・改善に努めます。</p> <p>また、子どもを取り巻く環境を踏まえ、教育と福祉が緊密な連携のもと、さまざまな視点から子どもたちを継続して見守り、その成長を支える取り組みの充実を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」を活用した研修実施校の割合：100% ・暴力発生件数：前年度(小161件・中159件)より50.0%減少 <p>平成31年度当初予算：115,375千円</p>

9月末の 進捗状況 【0】

平成30年9月に改定した「枚方市いじめ防止基本方針」に基づき、「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」とともに、各学校にいじめの未然防止、早期解決のため、組織的に対応できるよう指示しました。

また、子どもたちが抱える様々な課題に適切に対応するため、「ひらかた学校支援チーム」(元校長やスクールソーシャルワーカー、子どもの未来コーディネーター等)が定期的に学校訪問を行い、助言を行っています。

(6) 支援教育の充実

方向性	<p>すべての幼児・児童・生徒、教職員及び保護者並びに地域に対して、支援教育の理解と啓発を推進し、インクルーシブ教育システム(※)の理念を踏まえ、すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点からの学校づくり・集団づくりの充実を図り、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。</p> <p>※インクルーシブ教育システム…障害のある者と障害のない者が、同じ場で、可能な限りともに学ぶ仕組みのこと。</p>
-----	---

取り組み	<p>支援教育コーディネーターの活動時間を確保するために非常勤講師を派遣し、校内の支援教育体制を充実させるとともに、支援教育に関する専門家等を学校園に派遣し、教職員への指導・助言を行います。</p> <p>また、支援学級においてタブレット端末を活用して、視覚支援等による理解力の向上について効果の検証を行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する配慮を要する児童・生徒の個別の教育支援計画作成状況：令和元年度（2019年度）95.0%（平成30年度94.5%）
	平成31年度当初予算：214,415千円

9月末の進捗状況【〇】	<p>すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点から、支援教育に関する専門家の派遣、学校看護師・介助員の配置、支援教育コーディネーターを支援するための非常勤講師の配置、備品の購入や貸与、小学校2校においてカメラ機能等を活用した視覚支援等、タブレット端末の活用方法についての研究を行い、支援教育に係る環境整備を進めています。</p>
-------------	--

(7) 少人数学級充実事業の推進	
方向性	<p>小学校第1学年から第4学年までを支援学級在籍児童を含む35人学級編制、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施します。</p>
取り組み	<p>本市独自の小学校第4学年までの少人数学級編制及び小学校第5・第6学年の支援学級在籍児童を含む40人学級編制を、引き続き実施するとともに、習熟度別指導や一部教科担任制等、さまざまな指導方法・指導形態を工夫することにより、児童の「生きる力」の育成を図ります。なお、対象となる学校の増学級数に対して任期付教員を配置します。</p> <p>少人数学級編制については、保護者アンケートにおける肯定的回答の割合や「基礎学力のたしかめテスト」等の結果から、効果が見られるため、引き続き実施します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合：対前年度比向上 ・学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率：対前回比向上
	平成31年度当初予算：317,953千円

9月末の進捗状況【〇】	<p>小学校第1学年から第4学年までを支援学級在籍児童を含む35人学級編制、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施しました。</p>
-------------	---

(8) 教職員研修の充実

<p>方向性</p>	<p>「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」を図ります。</p>
<p>取り組み</p>	<p>平成30年3月に大阪府教育委員会により示された「大阪府教員等育成指標」に準じた「教員等育成指標」に基づいた授業研究・研修への支援を充実し、教員の授業力向上と児童・生徒の学力向上を図ります。</p> <p>新学習指導要領を踏まえ、本市独自の教職員研修計画に基づき、教職員の経験年数や職務に応じて行う「基本研修」及び教育課題や教科等の専門性を高める「専門研修」を実施します。</p> <p>高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成する「授業の達人養成講座」を、2年連続講座の2年目としてさらに充実させ、教職員の授業力、指導力の向上を図り、その成果を学校園に発信していきます。</p> <p>指導主事、教育推進プランナー等が学校園を訪問し、経験の浅い教職員への指導、助言や授業研究・研修への継続的な指導・支援を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合 (研修を受講した教職員が各学校園において会議等で伝達したり、授業等で実践した割合)：100%</p> <p>平成31年度当初予算：6,709千円</p>

9月末の 進捗状況 【〇】

今年度は、平成30年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata授業スタンダード」に基づいた授業改善(第2ステージ)、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っています。9月30日現在、基本研修を105回、専門研修を50回計155回実施しました。

また、教育推進プランナーを中心に、経験の浅い教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等に9月30日現在で420回の学校訪問を実施しました。

(9) コミュニティ・スクールの推進	
方向性	小学校に順次設置し、地域全体で教育に取り組む体制を構築します。
取り組み	<p>保護者や地域住民等で構成され、学校運営や運営に必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次設置します。また、研修会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介や設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校質問紙調査「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合（設置校）：100% <p>平成 31 年度当初予算：1,565 千円</p>

9 月末の進捗状況 【○】	<p>前年度設置した 5 校に加え、今年度新たに 22 校においてコミュニティ・スクールを設置しています。</p> <p>今後、実践事例の紹介や設置校の取り組みについての情報を発信するとともに、来年度中に市内全小学校の設置に向けて取り組みを進めていきます。</p>
-------------------------	--

(10) 幼児教育の充実	
方向性	3 歳児保育の実施と預かり保育の拡充をします。
取り組み	<p>市立幼稚園 7 園中 6 園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）において 3 歳児保育を実施します。また、これまで教育時間後の 14 時から 16 時半まで実施していた預かり保育を、三季休業日中（一部未実施日あり）も含めて、7 時から 19 時まで延長します。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における 3 歳児保育に対する保護者の肯定的回答の割合：80% 以上 ・保護者アンケートによる預かり保育の満足度：80% 以上 <p>平成 31 年度当初予算：122,295 千円</p>

9 月末の進捗状況 【◎】	<p>本年 4 月から、市立幼稚園 7 園中 6 園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）において 3 歳児保育を実施しています。</p> <p>預かり保育についても、三季休業日中（一部未実施日あり）も含めて、7 時から 19 時まで実施しています。</p>
-------------------------	---

(1) 「児童の放課後を豊かにする基本計画」の策定

方向性	昨年度に続き小学校内で実施する放課後子ども教室モデル事業の実施結果及び児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、子どもにとって望ましい「放課後」の実現に向け、既存事業との関係性についても検証し、本市の実情に応じた「児童の放課後を豊かにする基本計画」を策定します。
取り組み	放課後子ども教室モデル事業を市立4小学校において、今年度は夏季期間を中心に実施し、利用者（児童・保護者）のニーズの実態や事業効果、学校や既存事業との関係における課題を分析・検証します。また、児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、効率的・効果的な児童の放課後対策に向けた「児童の放課後を豊かにする基本計画」を令和元年度（2019年度）中に策定し、放課後子ども教室事業の本格実施に向けた準備を進めます。
	平成31年度当初予算：5,626千円

9月末の
進捗状況
【〇】

放課後子ども教室モデル事業を、第3クールとして夏季休業期間中（7月22日～8月24日）に平成30年度と同じ市立4小学校（蹉跎、山田、津田、樟葉北小学校）で実施し、4校合計で延べ2,500人の参加がありました。事業終了後に実施した児童及び保護者へのアンケート調査では、満足またはやや満足の割合が80.45%となりました。

これを踏まえ、児童の放課後対策審議会に対して「児童の放課後を豊かにする基本計画（素案）」を示し、「児童の放課後を豊かにする基本計画」策定に向け、審議を進めています。

(2) 社会教育の推進

方向性	生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術等を学ぶ機会を提供し、学習する主体の形成を図ります。
取り組み	市民が主体性を持って、地域の人々とともに生きられるよう、子育てや親への支援を行う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ社会教育基礎講座、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す社会教育（人権）講座等の開催のほか、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施します。
	各事業の実施に当たっては、必要な人に必要な情報が届くよう、適切な周知に努めます。
	《目標値》 講座等の募集人数に対する参加者の割合（80.0%）
	平成31年度当初予算：6,219千円

<p>9月末の進捗状況 【○】</p>	<p>令和元年度は「地域と生きる、地域で生きる」を共通テーマに設定し、家庭教育支援事業として、特に父親の子育て参加促進のために「親子で間ばつ材でブローチづくり～枚方の自然 里山・穂谷をもっと知ろう！～」を開催しました。今後、家庭教育支援事業として、親学び講座「思春期の『SOS』を見逃さないで！」や枚方市PTA協議会と共催の教育講演会、社会教育基礎講座として、「元気なうちに『終活』を始めませんか？」を「エンディングノート」「生前整理・生前契約」の2回に分けて開催する予定であり、その他の講座についても順次開催していく予定です。</p> <p>また、市内6生涯学習市民センターにて枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施しており、今年度はコーディネーター・指導員のステップアップ研修を実施し、技能向上を図ります。</p>
--------------------------------	---

(3) 留守家庭児童会室のあり方の検討	
方向性	放課後子ども教室の本格実施を見据え、民間活力の活用や適切な施設整備など、事業の再構築に向けた検討を行います。
取り組み	<p>留守家庭児童会室の利用ニーズが急増し、その受け皿の確保や専用施設の老朽化への対応が課題となる中、「新・放課後子ども総合プラン（平成30年9月）」では、「放課後児童クラブ※と放課後子ども教室を小学校内で一体型として1万箇所以上で実施」、「両事業を新たに整備等する場合には学校施設を徹底的に活用」等目標が掲げられました。※本市では留守家庭児童会室のことをいう。</p> <p>放課後子ども教室など他の事業の実施趣旨や目的を踏まえつつ、民間活力の活用も含め検討を進めます。また、良好な授業中の学習環境と放課後の保育環境を併せ持つ校舎整備について検討を行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>令和2年（2020年）1月末時点の待機児童数（0人）</p> <p>平成31年度当初予算：57,800千円（施設整備経費）</p>

<p>9月末の進捗状況 【○】</p>	<p>これまで、個別に実施してきた留守家庭児童会室、放課後子ども教室などの運営について、可能な範囲の融合を図り、「総合型放課後事業」として民間活力を活用しながら取り組みを進めるべく、検討を進めました。</p> <p>また、運営に必要な施設については、総合型放課後事業の実施を見据え、既存活用教室のハイブリット利用を図るべく、検討を行いました。</p>
--------------------------------	---

(4) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）	
方向性	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後50年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。

取り組み	<p>引き続き、再整備工事を行い、堂塔院内及び回廊西半分の土系舗装と基壇の張芝、また南門礎石レプリカの設置を行うとともに、築地塀の復元基本設計を行います。当初計画より整備の遅れが生じているため、これまでの整備工事の進捗を踏まえ、年度ごとの整備計画を見直し、完了に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、百済寺跡や楠葉台場跡等の史跡の活用については、保存とのバランスを考慮しながら関係部署と連携し、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再整備工事の進捗管理 ・築地塀の復元基本設計の進捗管理
	平成 31 年度当初予算：122,849 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>堂塔院内及び回廊西半分の土系舗装と基壇の張芝、また南門礎石レプリカの設置を実施しているとともに、築地塀の復元基本設計を行っています。事業完了に向け、令和 5 年度を完了年次とする整備計画のスケジュールの見直しを行いました。</p> <p>また、百済寺跡や楠葉台場跡等の史跡の活用については、効果的な活用方法の検討を進めるとともに、現地の草刈や発掘調査により出土した遺物の適切な管理を行っています。</p>
----------------------	---

(5) スポーツ施策の推進	
方向性	<p>平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに関わる関係部署・団体等と連携・協力し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを行います。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けての施策を進めます。</p>
取り組み	<p>「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、庁内各所管部署で取り組む施策と事業に関し、有識者、専門家・市民等で構成する枚方市スポーツ推進審議会からの点検・評価を受け、また助言を受けながら事業の見直しや進行管理を行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づくスポーツ事業の実施 ・効果的・効率的な事業の実施 ・PDCA サイクルによる事業の効果検証 <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 1 日以上スポーツに取り組む成人の割合 65.0%程度</p> <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 3 日以上スポーツに取り組む成人の割合 30.0%程度</p>
	平成 31 年度当初予算：330 千円

9月末の 進捗状況 【○】	スポーツ推進計画の具体的施策に基づき各所管部署で実施した平成30年度の事業について、自ら実績の点検と評価を行い、その内容を整理した上で、10月28日に開催予定の枚方市スポーツ推進審議会において点検・評価を行います。
------------------------------	---

(6) 香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備	
方向性	隣接する香里ヶ丘中央公園との一体的整備を進め、また機能連携を図りながら、香里ヶ丘地域のまち全体の魅力を高めるとともに定住促進につなげていきます。
取り組み	<p>香里ヶ丘図書館については、平成31年4月から建物新設工事を行います。</p> <p>また、図書館と公園（みどりの広場）の管理手法については、指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用した効果的・効率的な運営を行っていきます。</p> <p>休館中の代替サービスとして、南部生涯学習市民センター1階で予約図書の出借を行うとともに、香里ヶ丘中央公園での自動車文庫巡回等を引き続き行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な工事進行 ・管理手法の確定 <p>平成31年度当初予算：539,022千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>令和2年8月の開館に向け、引き続き建物建設工事を行っています。</p> <p>また、図書館と公園（みどりの広場）の効果的・効率的な管理運営のため、指定管理者選定委員会を2回開催しました。</p> <p>休館中の代替サービスとして南部生涯学習市民センターに設置した香里ヶ丘図書館代替サービススポットでの予約図書受け渡しサービスの実施と、香里ヶ丘中央公園での自動車文庫による巡回貸出を引き続き行っています。</p>
------------------------------	--

(7) 学校図書館支援事業の推進	
方向性	<p>読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校図書館の機能充実に向けた支援を強化します。</p> <p>学校図書館と市立図書館との共用の蔵書データベースの有効活用を進めるとともに、児童・生徒の読書活動および学習活動の充実を支援します。</p>
取り組み	<p>全19中学校区に配置している学校司書や、学校図書館システムの管理・技術的支援とともに、施設環境整備を行うなど、学校図書館の機能充実を図ります。また、「学校教育支援用団体貸出」、「子どもに本を届ける事業」等を行うほか、児童・生徒の読書意欲向上に資するため「ビブリオバトル」等イベントの充実に取り組みます。</p> <p>《目標値》</p> <p>「ビブリオバトル」への中学校（市立19校、私立2校）の参加率100%</p> <p>平成31年度当初予算：7,032,000円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

夏季休業中に、学校司書や教職員とともに小学校 10 校の学校図書館の環境整備を実施しました。これにより、平成 26 年度から学校司書を配置して進めてきたレイアウト変更や分類ごとの図書の並べ替えなどの環境整備が、全 64 小中学校で完了しました。また、老朽化した全校の児童・生徒用の学校図書館システム端末を更新することで、利便性の向上を図りました。

全 19 中学校区配置の学校司書への支援や、「学校教育支援用団体貸出」等に取り組み、学校図書館の機能充実および活用促進を図っています。

「中学生のビブリオバトル」は令和 2 年 3 月実施を予定しています。

(8) 市駅周辺の図書館機能の充実

<p>方向性</p>	<p>市の中心拠点・駅近のメリットを生かして、市の魅力をアピールし、定住促進に寄与できるよう、行政機能の一つである「図書館機能」の充実に向けた検討を進めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>子育て世代を中心としたニーズを踏まえ、市駅周辺を利用する市民等に市の魅力をアピールできる図書館機能の具体化について検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な工事進行 ・管理手法の確定

**9月末の
進捗状況
【〇】**

枚方市への定住促進に向けた魅力にあふれた賑わいのあるまちづくりに寄与するため、枚方市駅前の再開発における「図書館機能」の充実に向け取り組んでいます。各方面からご意見をいただきながら、費用対効果等を含めた検討を進めています。

(1) 選挙の公正かつ適正な管理執行

方向性	今年度予定されている選挙においては、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
取り組み	各部署及び関係機関と連携を図りながら計画的に業務を遂行するとともに、公職選挙法に基づき、公正かつ適正な選挙事務の管理執行に努めます。 平成 31 年度当初予算：552,618 千円（期日前投票・不在者投票事務経費を含む）

9 月末の
進捗状況
【○】

4 月執行の第 19 回統一地方選挙（大阪府知事選挙、大阪府議会議員選挙、枚方市議会議員選挙）及び、7 月執行の第 25 回参議院議員通常選挙選挙並びに、9 月執行の枚方市長選挙にあたっては、選挙期日に向け十分な事前準備を行い、適正かつ効率的な選挙事務を行いました。
なお、令和 2 年（2020 年）1 月執行予定の財産区議会議員選挙（菅原・氷室）について、財産管理課と連携を図りながら、適切に選挙事務を進めています。

(2) 選挙啓発事業の推進

方向性	特に若年層の投票率が低い状況にあることから、これから有権者となる中学生や高校生を対象とした出前授業等の実施や、新たに有権者となられた方に啓発はがきを発送するなど、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
取り組み	教育委員会や中学校、高校と連携し、中学生や高校生を対象とした模擬投票も取り入れた出前授業や、小・中学校の児童、生徒に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するなど、政治や選挙に関心を持ってもらえるよう啓発事業を実施するとともに、新たに有権者となられた満 18 歳の方に対し、選挙啓発のはがきを発送し投票を促すなど、若年層を中心とした啓発事業を進めます。 《目標値》 出前授業の実施数：5 校以上（平成 30 年度実績：4 校） 平成 31 年度当初予算：599 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

選挙啓発に関する出前授業を 6 月に高校 1 校で実施し、現在、中学校 2 校での出前授業に向け、学校と連携を図りながら、取り組みを進めています。
また、小・中学校の児童、生徒に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集し 249 点の応募を受けるとともに、新たに有権者となられた満 18 歳の方に対し、投票を促すための選挙啓発はがき 1,657 通を発送しました。

(3) 期日前投票所の増設について

方向性	投票機会の拡大と有権者の利便性及び投票率の向上を図るため、第19回統一地方選挙から期日前投票所を9箇所を増設するなどの投票環境の整備を行います。
取り組み	平成31年統一地方選挙から新たに商業施設2箇所（くずはモール、ビオルネ）も含め、期日前投票所を9箇所を増設します。今後も期日前投票所の事務執行の効率性を検討しながら、投票しやすい環境整備に努めます。
	平成31年度当初予算：46,048千円（各選挙費の期日前投票・不在者投票事務経費の合計）

9月末の 進捗状況 【◎】

増設施設でのネットワーク環境の構築や人員配置など設置に向けた環境整備を行い、平成31年統一地方選挙から新たに商業施設2箇所（くずはモール、ビオルネ）も含め、期日前投票所を9箇所を増設し、続く7月執行の参議院議員通常選挙、9月執行の枚方市長選挙でも9箇所開設しました。

(1) 各種監査の円滑な実施

<p>方向性</p>	<p>定期監査及び随時監査の実施に当たり、事務局は書類審査及び現地調査等を通じて、対象部署の事務の執行状況を監査委員の協議の場へ報告します。 監査委員は、対象部署への聴取の後、指摘・改善事項や意見・要望事項等の監査結果の講評を経て市議会、市長等に提出、公表を行います。 事務局は、監査委員によるこれらの監査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>定期監査として、令和元年度（2019年度）は6つの部及び教育機関について、財務に関する事務の執行状況等の監査を行います。 また、随時監査は、財政援助団体等監査、同監査に伴う所管部署に対する監査及び工事監査を行います。 住民監査請求が提出された場合は、監査期間の60日以内に監査結果を出せるよう、事務局として適切に対応します。</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

定期監査は長寿社会部と学校教育部に対して4月から実施し、7月1日に監査委員による講評が行われました。現在は産業文化部及び総合教育部、教育機関の監査を実施中です。
随時監査のうち財政援助団体等監査は、「枚方市土地開発公社」が監査対象に選定されました。また、同監査に伴う所管部署に対する監査として財務部 資産活用課が選定され、いずれも11月から来年2月までの間で実施予定です。
現時点で住民監査請求はありません。

(2) 例月現金出納検査、決算審査及び財政健全化法に基づく審査

<p>方向性</p>	<p>監査委員が毎月行う各会計の現金出納検査に際し、事務局として事前に各会計の書類審査を実施し、その結果を検査当日、監査委員に報告します。 決算審査については、市長から監査委員の審査に付された決算書、その他関係諸表等について、事務局として事前に計数の確認や、予算の執行と会計処理が適正で効率的に行われているか等の書類審査を行い、監査委員の協議の場へ報告します。監査委員は、関係部局への聴取を行うとともに、会計ごとに意見をまとめ、決算審査意見書として市長へ提出します。 事務局は、監査委員によるこれらの検査及び審査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>例月現金出納検査については毎月1回、決算審査等については6月から8月の間に実施します。</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

例月現金出納検査については毎月1回実施しました。

決算審査等は、企業会計については6月21日から、一般会計・特別会計については7月8日からそれぞれ実施し、9月10日に市長へ決算審査意見書を提出しました。併せて、健全化判断比率等審査意見書も提出しました。津田、菅原及び氷室の各財産区会計の決算については現在審査中です。

(1) 農業委員会の円滑な運営

方向性	農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会総会・協議会や常任委員会その他の会議や農地パトロール等の現地活動について、引き続き円滑な運営に取り組めます。また、令和2年(2020年)7月の委員改選に向けた諸手続きを着実に進めていきます。
取り組み	毎月の農業委員会総会における許可案件等について、法令に基づいた確かな審議を行うとともに、普段の調査・相談活動において、委員等と事務局職員との一層の情報共有化を図るなど、円滑な運営に努めます。また、農業委員会制度等についての研修会を実施します。
	平成31年度当初予算：1,720千円

**9月末の
進捗状況
【○】**

月1回開催している農業委員会総会においては、農地の権利移動や転用等について、法令に基づき審議を行い、普段の調査・相談活動についても、総会後の協議会で情報共有化を図っています。また、7月10日には「農業・農業委員会をめぐる情勢について」をテーマに研修会を実施しました。

(2) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

方向性	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の農地利用の最適化を推進するため、引き続き、農地銀行(農地の貸借等を進める組織)による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
取り組み	農地銀行に係る農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載等により、農地銀行制度や農地貸借希望台帳の啓発・周知に努めます。
	<目標値> 新規集積面積：2ha(平成26~30年度の増加面積：9.6ha) 平成31年度当初予算：150千円

**9月末の
進捗状況
【○】**

4月からの農地貸借希望台帳の新規搭載件数は2件4筆あり、また、4月から初めて利用権設定された農地(新規設定)は7筆5,805㎡でした。9月に3,500部発行した農委だよりにより農地銀行制度について掲載し、市内のJA組合員への情報提供を行いました。

(3) 農地適正管理システムの精度向上

方向性	農地台帳及び農地に関する地図について、インターネットの利用等による公表が法定化・義務化されていることから、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用の調整に資するほか、農地法に基づく許可事務等法令業務や農地利用の最適化の推進のため、農地適正管理システムの精度向上を図ります。
取り組み	的確な農地情報（農業者、所在、地番、面積等）の把握に努め、農地適正管理システムの精度向上を図ります。また、システム稼働前の農地転用に係る許可・届出物件のデータベース化を進めており、引き続き取り組んでいきます。
	平成 31 年度当初予算：2,246 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】

現在、農地の権利移動や転用の許可案件等については的確な情報把握につとめ、農地適正管理システムを随時更新しています。過去の案件についても昨年度から引き続きデータベース化を進めており、現時点で 80%が完了しています。国の「農地情報公開システム」についても、大阪府農業会議主催の研修会に参加するなど、現システムとの併用も含めて効果的な運用方法を検討していきます。

(1) 本会議、委員会等の適切な運営

方向性	本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、市議会事務局として、きめ細かな調整、準備に取り組むことにより、そのサポートに努めます。
取り組み	<p>通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査に取り組む常任委員会の活動等に対するサポートを的確に行います。なお、4月の市議会議員の改選後の議会運営を円滑に進められるよう、全議員を対象とした議員総会や、新議員を対象とした説明会や研修会を速やかに実施します。</p> <p>また、議会改革調査特別委員会で行った議会基本条例の運用状況の検証結果を踏まえ、議員研修の場において専門的知見を活用し、研修内容を充実させることにより議会全体の機能強化を図ります。</p> <p>平成31年度当初予算：807千円</p>

**9月末の
進捗状況
【〇】**

本会議では、初議会である5月開会議会、6月定例会議会、9月定例会議会（初日のみ）が開催されました。所管事務調査や付託事件の審査を行う常任委員会など、その他の会議も含め、的確なサポートを行い、円滑な会議運営を実現することができました。

また、4月の市議会議員の改選後の議会運営を円滑に進められるよう、全議員を対象とした議員総会や、新議員を対象とした説明会や研修会を速やかに実施しました。

(2) 多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実

方向性	議会活動に関する情報発信については、一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継を実施するなど現在も多様な方法で行っていることから、これらを継続し、引き続き市民ニーズを踏まえた情報発信に努めます。
取り組み	<p>次の情報発信方法を継続して行います。また、より効果的に情報発信を行うことができる方策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○枚方市議会報の発行（全戸配布。ホームページにも掲載） ○点字議会報の発行（希望者に送付） ○声の議会報の発行（希望者に送付。ホームページにも掲載） ○一般質問・代表質問及び議案審議の生中継及び録画映像配信（ユーチューブの活用） ○会議録の発行（市立図書館等に配架） ○インターネット上における会議録検索システムの運用

	○ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など ≪目標値≫ 会議録検索システムの年間アクセス数：12,000件
	平成31年度当初予算：16,795千円

9月末の 進捗状況 【○】	枚方市議会報を2回発行するとともに、その都度、同内容の点字・声の議会報を発行しました（5月、8月）。また、会議日程をツイッターでお知らせするとともに、開催案内ポスターを一新し、さらなる周知に努めました。 さらに、一般質問や議案審議等のインターネットによる生中継を継続して実施し、市民ニーズを踏まえた情報発信に引き続き努めました。
------------------------------	---

(3) 災害発生時における様々な支援活動体制の強化	
方向性	地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、臨時的に開催する「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」において迅速かつ円滑に対応できるよう、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努め、体制の強化を図ります。
取り組み	平成30年度は、大阪北部地震の発生により、市議会において「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」が開催されました。そこで洗い出された検討課題を踏まえつつ、「市民通報サービス」の活用や「災害伝言ダイヤル」、「災害用伝言板」を用いた災害訓練を定期的実施するとともに、事務局職員の災害発生時の支援活動体制の強化を図ります。 また、議会期間中、特に開議中に災害が発生した場合の議場内の安全確保対策や避難誘導及び議会運営等について、他市事例を参考に調査・研究を進めるとともに、議会期間外であっても、通年議会の実施により、議会の判断で「緊急議会」を開催することが可能であるため、大阪北部地震を教訓に、災害時において迅速かつ円滑な対策を検討できるよう、災害時の「緊急議会」の運営について、調査・研究を進めます。

9月末の 進捗状況 【○】	市議会議員及び事務局職員を対象に「災害伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」を用いた災害時安否確認訓練を実施しました（6月）。 また、議会期間中や開議中に災害が発生した場合の議場内の安全確保対策や避難誘導及び議会運営等について、他市事例を参考に調査・研究を進めました。
------------------------------	--

(4) 政務活動費の適正な運用

方向性	市民の信頼にこたえるため、政務活動費のより一層の適正な執行と、さらなる使途の透明性向上を図ります。
取り組み	情報化の進展や流通形態の変化、また市民ニーズの多様化など、様々な社会情勢の変化に対応するため、本市議会で作成した「政務活動費マニュアル」を活用しながら、議員に対して最新の判例などの情報や、支出の適否に係る判断材料の提供を丁寧に行うなど、政務活動費の適正な運用に努めるとともに、使途の透明性向上を図ります。

9月末の 進捗状況 【○】

平成30年度分及び平成31年度4月分に係る政務活動費の収支概要及び議員単位の収支報告書を市議会ホームページに掲載しました(7月)。

(5) 他の市議会との広域的な連携

方向性	他の市議会と広域的な連携を図り、様々な情報を共有することにより、そのノウハウを本市議会の運営に活用します。
取り組み	全国・中核市・近畿・大阪府・河北の各市議会議長会などの各種団体が実施する事業等へ積極的に参加するとともに、国の動向や他市の事例を注視し、適正な情報把握に努め、本市議会の運営に活用します。

9月末の 進捗状況 【○】

河北7市の市議会事務局で構成される河北事務担当者会議が寝屋川市で開催され(7月)、他市事例などの情報収集や共通的な諸問題の協議を行いました。また、次回の会議は、本市が開催市となるため、適切な準備に努めます。